

第二期高山村総合戦略効果検証シート

基本目標	1 むらにしごとをつくり、安心して働けるようにする
主な施策	
担当課	産業振興課
重要業績評価指標 (KPI) 目標値	事業所・企業等創業件数 15件
現状値	0 件

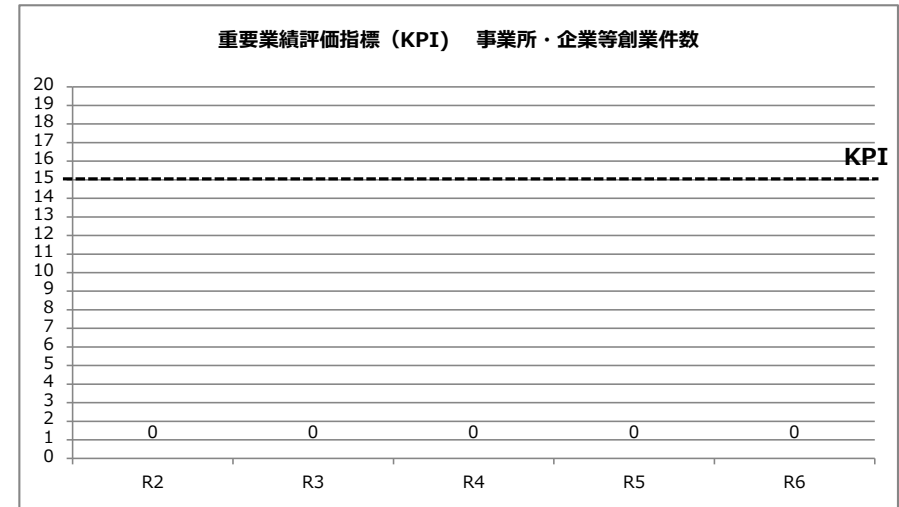
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度					
目標値 (件)	3	6	9	12	15					
実績値 (件)										
目標に対する達成率	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%					
現状値に対する増減率	-	-	-	-	-					
評価										
目標 [PLAN]	本村の基幹産業である農業を核として産業の幅を広げるとともに、地域特性を活かした産業の活性化と起業支援を図り、魅力ある就労・雇用の場を創出します。									
実績 (具体的な 取組内容) [DO]	}									
分析 [CHECK]						詳細については、1-⑤及び1-⑥に記載。				
対応方針 [ACTION]										
備考										

年度ごとの評価

◎	目標値以上
○	現状値以上目標値未満
△	現状値未満
-	進捗なし・事業終了

総合評価

◎	目標以上に進捗・効果あり
○	ほぼ目標通りに進捗・やや効果あり
△	目標を下回っている・あまり効果なし
-	目標値・事業の見直し等が必要



総合戦略会議による検証評価

意見等	なし
総合評価	

第二期高山村総合戦略効果検証シート

基本目標	1 むらにしごとをつくり、安心して働けるようにする
主な施策	1-④ 高山村らしい果樹とワイン産地づくり
担当課	産業振興課
重要業績評価指標（KPI）目標値	ワインぶどう栽培面積 60ha
現状値	55 ha （R元年度）

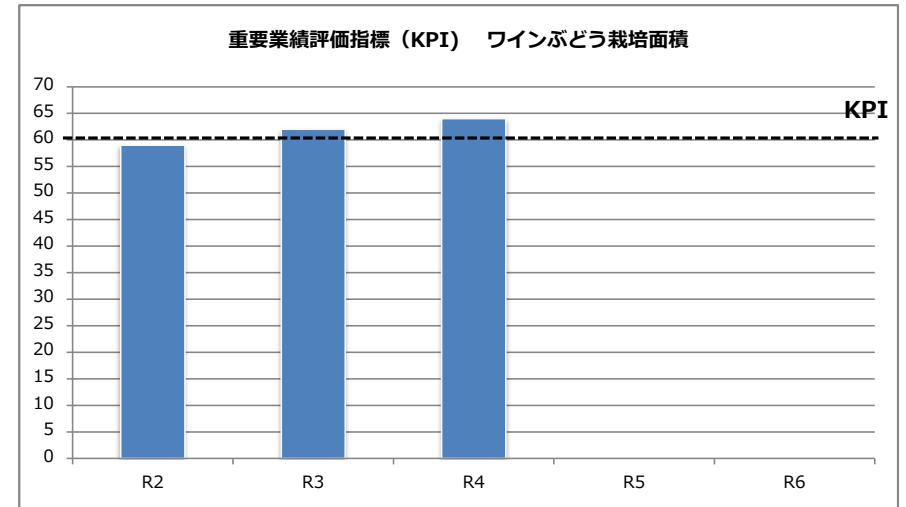
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標値（ha）	56	57	58	59	60
実績値（ha）	59	62	64		
目標に対する達成率	105.4%	108.8%	110.3%	0.0%	0.0%
現状値に対する増減率	107.3%	112.7%	116.4%	0.0%	0.0%
評価	◎	◎	◎		
目標 [PLAN]	ブランド化された「信州高山さわやかりんご」や高価格で取引されるシャインマスカットをはじめとしたぶどう等の果樹振興を図ります。また、世界に誇れるワイン産地のむらを目指して栽培面積の拡大と品質向上を図るとともに、人材育成・確保を推進し、醸造技術の向上によりワイン振興を推進します。				
実績（具体的な取組内容） [DO]	国の耕作放棄地再生利用緊急対策交付金の活用や村単独事業の苗木購入・棚資材購入費の補助により、農地の再生・ワインぶどう栽培農地の整備などを積極的に実施しました。ワインぶどう産地形成推進事業により苗木購入補助4件260,800円（補助率2/10）を実施しました。				
分析 [CHECK]	ワインぶどうの栽培面積は令和3年度と比べ2ha増加し、令和4年度で64haとなります。大幅な増加ではないが、村単独の補助事業などが有効に活用されています。				
対応方針 [ACTION]	平成29年度に1/10から2/10に拡大した苗木購入費への補助を継続するとともに、気象データの活用による安定した農作物栽培支援を実施し、農業委員会と連携し栽培面積の更なる拡大を図ります。				
備考					

年度ごとの評価

◎	目標値以上
○	現状値以上目標値未満
△	現状値未満
—	進捗なし・事業終了

総合評価

◎	目標以上に進捗・効果あり
○	ほぼ目標通りに進捗・やや効果あり
△	目標を下回っている・あまり効果なし
—	目標値・事業の見直し等が必要



総合戦略会議による検証評価

意見等	なし
総合評価	◎ 目標以上に進捗・効果あり

第二期高山村総合戦略効果検証シート

基本目標	1 むらにしごとをつくり、安心して働けるようにする
主な施策	1-④ 高山村らしい果樹とワイン産地づくり
担当課	産業振興課
重要業績評価指標（KPI）目標値	りんご栽培面積 157ha
現状値	157 ha （R元年度）

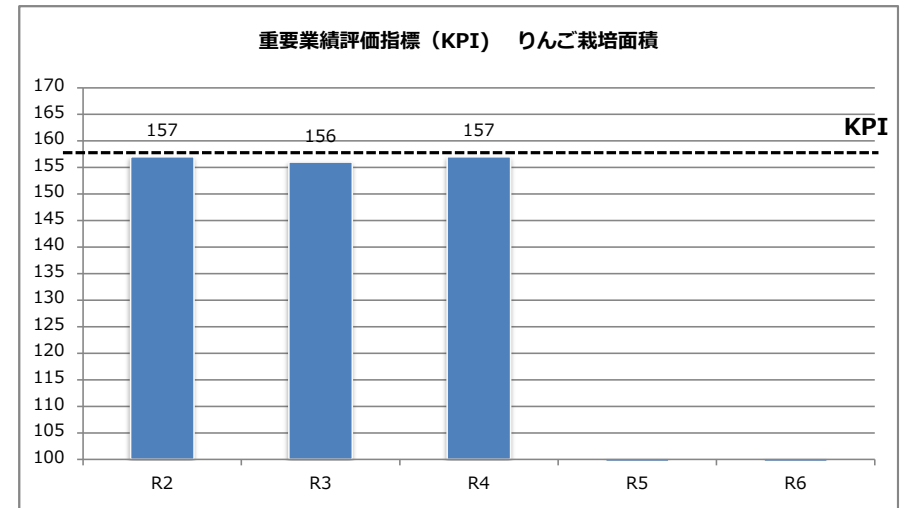
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標値（ha）	157	157	157	157	157
実績値（ha）	157	156	157		
目標に対する達成率	100.0%	99.4%	100.0%	0.0%	0.0%
現状値に対する増減率	100.0%	99.4%	100.0%	0.0%	0.0%
評価	◎	△	◎		
目標 [PLAN]	ブランド化された「信州高山さわやかりんご」や高価格で取引されるシャインマスカットをはじめとしたぶどう等の果樹振興を図ります。また、世界に誇れるワイン産地のむらを目指して栽培面積の拡大と品質向上を図るとともに、人材育成・確保を推進し、醸造技術の向上によりワイン振興を推進します。				
実績（具体的な取組内容） [DO]	りんご産地形成推進事業により、苗木購入補助50件423,200円（補助率5/10）を実施しました。（前年比12件の増加） また、今年度はりんご栽培管理の動画を作成し、DVDの配布と村ホームページへの掲載を予定しています。				
分析 [CHECK]	農業者の高齢化や担い手不足、また新型コロナウイルスの影響や凍霜害による販売減少等が懸念されたものの、栽培面積は横ばいを保ちました。村単独補助事業や昨年度作成したりんご剪定作業の動画などが、村ホームページ等で有効に活用されています。				
対応方針 [ACTION]	令和2年度に3/10から5/10に拡大した苗木購入費への補助、1/10から2/10に拡大した棚資材購入費への補助を継続するとともに、今年度作成したりんご栽培管理の動画の活用しながら、担い手不足や栽培面積の維持及び品質の向上を図ります。また、移住相談会で農業に興味のある方に動画DVDを配布して、りんご栽培に意欲ある農業者の確保と栽培面積の拡大を目指します。				
備考					

年度ごとの評価

◎	目標値以上
○	現状値以上目標値未満
△	現状値未満
—	進捗なし・事業終了

総合評価

◎	目標以上に進捗・効果あり
○	ほぼ目標通りに進捗・やや効果あり
△	目標を下回っている・あまり効果なし
—	目標値・事業の見直し等が必要



総合戦略会議による検証評価

意見等	なし
総合評価	◎ 目標以上に進捗・効果あり

第二期高山村総合戦略効果検証シート

基本目標	1 むらにしごとをつくり、安心して働けるようにする
主な施策	1-④ 高山村らしい果樹とワイン産地づくり
担当課	産業振興課
重要業績評価指標（KPI）目標値	ぶどう栽培面積 110ha
現状値	102 ha （R元年度）

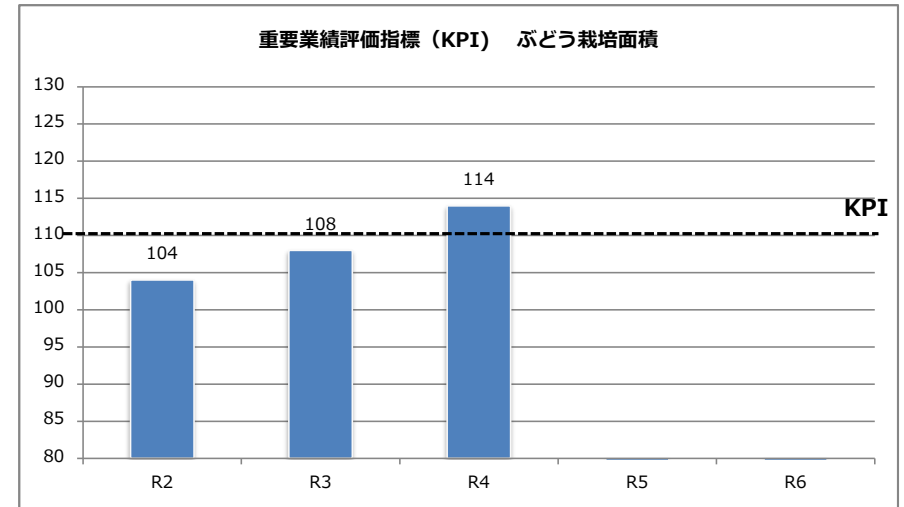
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標値（ha）	104	106	108	109	110
実績値（ha）	104	108	114		
目標に対する達成率	100.0%	101.9%	105.6%	0.0%	0.0%
現状値に対する増減率	102.0%	105.9%	111.8%	0.0%	0.0%
評価	◎	◎	◎		
目標 [PLAN]	ブランド化された「信州高山さわやかりんご」や高価格で取引されるシャインマスカットをはじめとしたぶどう等の果樹振興を図ります。また、世界に誇れるワイン産地のむらを目指して栽培面積の拡大と品質向上を図るとともに、人材育成・確保を推進し、醸造技術の向上によりワイン振興を推進します。				
実績（具体的な取組内容） [DO]	生食用ぶどう産地形成推進事業により、苗木購入補助67件535,870円（補助率3/10）、棚資材設置補助9件1,004,500円（補助率1/10）を実施しました。				
分析 [CHECK]	農業者の高齢化や担い手不足、また新型コロナウイルスの影響による販売減少等が懸念されたものの、栽培面積は6ha増え114haとなりました。果樹振興事業補助金が活用されていることもあり、令和2年度に比べ10ha増えています。また、新規就農者により、ぶどう栽培面積が増えています。				
対応方針 [ACTION]	苗木購入費・棚資材購入費への補助を継続し、栽培面積の拡大と品質の向上を図ります。				
備考					

年度ごとの評価

◎	目標値以上
○	現状値以上目標値未満
△	現状値未満
—	進捗なし・事業終了

総合評価

◎	目標以上に進捗・効果あり
○	ほぼ目標通りに進捗・やや効果あり
△	目標を下回っている・あまり効果なし
—	目標値・事業の見直し等が必要



総合戦略会議による検証評価

意見等	なし
総合評価	◎ 目標以上に進捗・効果あり

第二期高山村総合戦略効果検証シート

基本目標	1 むらにしごとをつくり、安心して働けるようにする
主な施策	1-② 農業6次産業化の推進
担当課	産業振興課
重要業績評価指標（KPI）目標値	農業6次産業化施設 創業件数 5件
現状値	0件

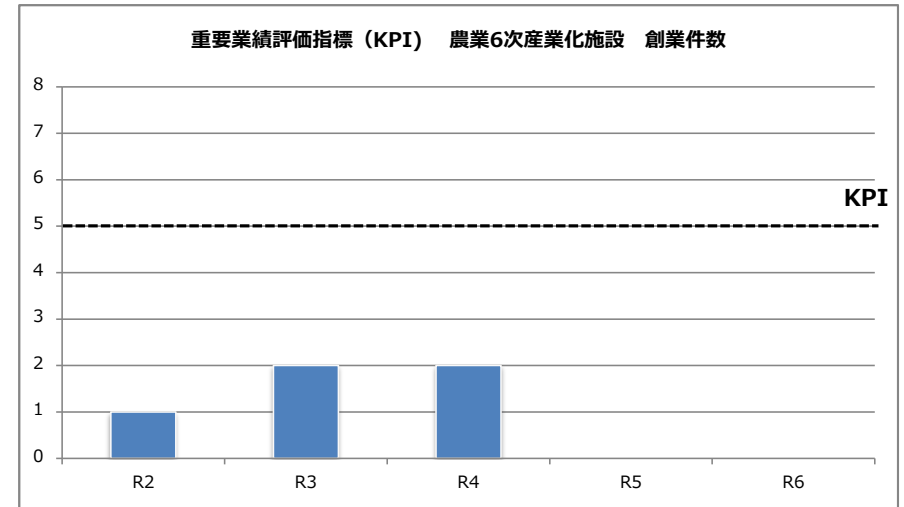
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標値（件）	1	2	3	4	5
実績値（件）	1	2	2		
目標に対する達成率	100.0%	100.0%	66.7%	0.0%	0.0%
現状値に対する増減率	-	-	-	-	-
評価	◎	◎	○		
目標 [PLAN]	「農商工・産学官」が連携して農作物の付加価値を高めるため、特産品の開発、農産物・特産品の販売拠点の強化を図ります。特に、ワインぶどうを加工・販売するワイナリーをはじめ、本村が誇るりんご・ぶどう等の農作物の6次産業化によるブランド化を推進します。				
実績（具体的な 取組内容） [DO]	小規模な加工施設の建設が増加することを見込み、農業6次産業化推進事業補助金の対象事業費の下限を2,000万円から500万円に緩和しましたが、R4年度中の申請はありませんでした。				
分析 [CHECK]	村単独の補助制度や県の支援制度についての周知が不足していると考えられます。				
対応方針 [ACTION]	広報紙への掲載や農業者が参集する会議などのほか、6次産業化を目指す方を対象とした集会等を設営し、村や県の支援制度の周知をするとともに、事業化に向けた支援を行います。				
備考					

年度ごとの評価

◎	目標値以上
○	現状値以上目標値未満
△	現状値未満
-	進捗なし・事業終了

総合評価

◎	目標以上に進捗・効果あり
○	ほぼ目標通りに進捗・やや効果あり
△	目標を下回っている・あまり効果なし
-	目標値・事業の見直し等が必要



総合戦略会議による検証評価

意見等	この村にはかなりのポテンシャルがあるため、村を代表するような土産品を開発する等の取組みを進めるべきである。
総合評価	○ ほぼ目標通りに進捗・やや効果あり

第二期高山村総合戦略効果検証シート

基本目標	1 むらにしごとをつくり、安心して働けるようにする
主な施策	1-③ 農業の担い手の育成・確保
担当課	産業振興課
重要業績評価指標（KPI）目標値	認定農業者数 100人
現状値	98人（R元年度）

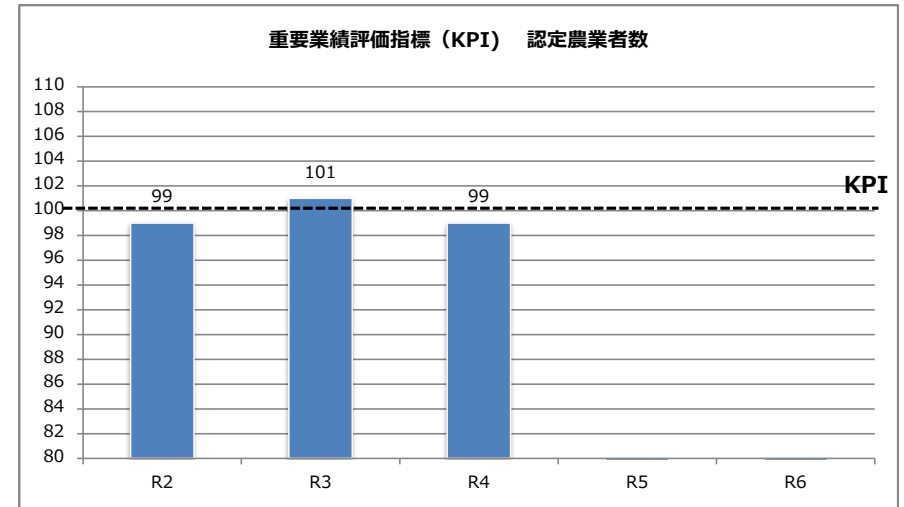
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標値（人）	98	98	99	99	100
実績値（人）	99	101	99		
目標に対する達成率	101.0%	103.1%	100.0%	0.0%	0.0%
現状値に対する増減率	101.0%	103.1%	101.0%	0.0%	0.0%
評価	◎	◎	◎		
目標 [PLAN]	認定農業者制度や里親制度等の活用、農業生産団体の法人化及び農業生産法人の参入促進等を図るとともに、首都圏等で開催される就農相談会への出展や就農体験の実施等により、新規就農者の育成・確保を図ります。				
実績（具体的な 取組内容） [DO]	認定農業者支援対策事業により、共済掛金補助26件92,195円（補助率1/10）、収入保険掛金補助21件168,870円（補助率1/10）及びコンポスト補助54件207,790円（補助率2/10）を実施しました。また、認定農業者果樹栽培機械購入補助を2件600,000円、認定農業者機械化資金融資利子補給金を15件189,012円実施しました。なお、認定農業者数は前年度101人から2人減り99人となりました。				
分析 [CHECK]	農業者の高齢化や担い手不足、また新型コロナウイルスの影響による販売減少等が懸念されるとともに、更新期の認定農業者の中で高齢を理由に再申請をしない方がいたため、認定農業者数は前年度から2人減り99人となりました。				
対応方針 [ACTION]	認定農業者になるための要件や補助制度を効果的に周知し、補助金を含め更なる利活用を検討し、本村における継続的な農業の推進につなげます。また、認定新規就農者の期間が終了となる方へは、新たに申請してもらうよう周知します。				
備考					

年度ごとの評価

◎	目標値以上
○	現状値以上目標値未満
△	現状値未満
—	進捗なし・事業終了

総合評価

◎	目標以上に進捗・効果あり
○	ほぼ目標通りに進捗・やや効果あり
△	目標を下回っている・あまり効果なし
—	目標値・事業の見直し等が必要



総合戦略会議による検証評価

意見等	なし
総合評価	◎ 目標以上に進捗・効果あり

第二期高山村総合戦略効果検証シート

基本目標	1 むらにしごとをつくり、安心して働けるようにする
主な施策	1-③ 農業の担い手の育成・確保
担当課	産業振興課
重要業績評価指標（KPI）目標値	新規就農者数 12人
現状値	0人

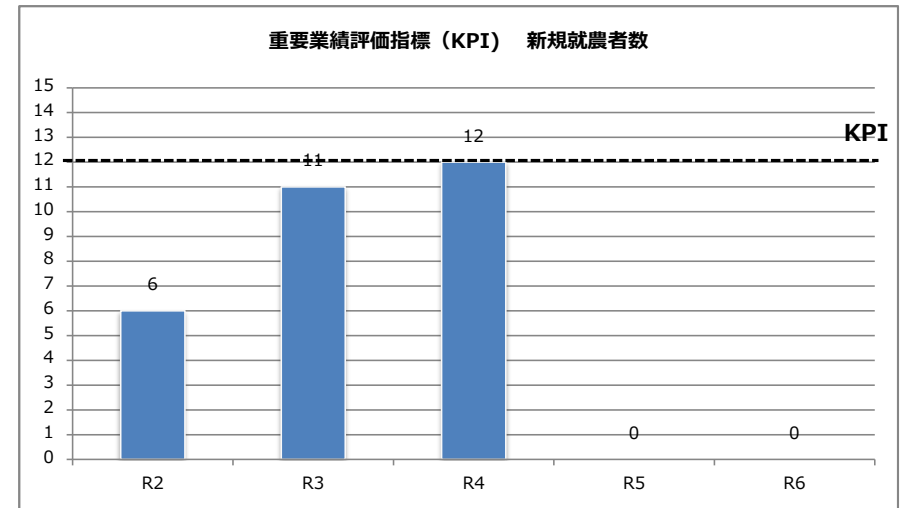
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標値（人）	3	6	8	10	12
実績値（人）	6	11	12		
目標に対する達成率	200.0%	183.3%	150.0%	0.0%	0.0%
現状値に対する増減率	-	-	-	-	-
評価	◎	◎	◎		
目標 [PLAN]	認定農業者制度や里親制度等の活用、農業生産団体の法人化及び農業生産法人の参入促進等を図るとともに、首都圏等で開催される就農相談会への出展や就農体験の実施等により、新規就農者の育成・確保を図ります。				
実績（具体的な 取組内容） [DO]	コロナ禍前は首都圏で開催される就農相談会等で就農体験への実施をPRしていましたが、令和2年度からオンライン相談会等に切替え、令和4年度では52件の相談がありました。また、今年度開催した就農体験会の参加者の内1人がR5からの里親研修に繋がりました。なお、令和4年度で1人が新規に就農しました。				
分析 [CHECK]	就農希望者が居住する住宅が不足しているため、空き家対策と連携し受け入れ体制を充実させることが必要と考えます。				
対応方針 [ACTION]	令和5年度では、オンライン相談会も継続して行うとともに、首都圏等で開催される就農相談会への参加も再開し、体験会も今年度以上に就農に結びつくよう充実を図ります。また、全庁的に就農希望者が安心して移住できる体制づくりを進めていきます。				
備考					

年度ごとの評価

◎	目標値以上
○	現状値以上目標値未満
△	現状値未満
-	進捗なし・事業終了

総合評価

◎	目標以上に進捗・効果あり
○	ほぼ目標通りに進捗・やや効果あり
△	目標を下回っている・あまり効果なし
-	目標値・事業の見直し等が必要



総合戦略会議による検証評価

意見等	新規就農者が収入を得て安定した生活が送れるように、必要な支援を継続してほしい。 個人の選択にはなるが、収益の上がる作物の栽培を促していくことが必要である。
総合評価	◎ 目標以上に進捗・効果あり

第二期高山村総合戦略効果検証シート

基本目標	1 むらにしごとをつくり、安心して働けるようにする
主な施策	1-④ 消費の拡大
担当課	産業振興課
重要業績評価指標（KPI）目標値	想定直接消費喚起額 2.5億円
現状値	0 億円

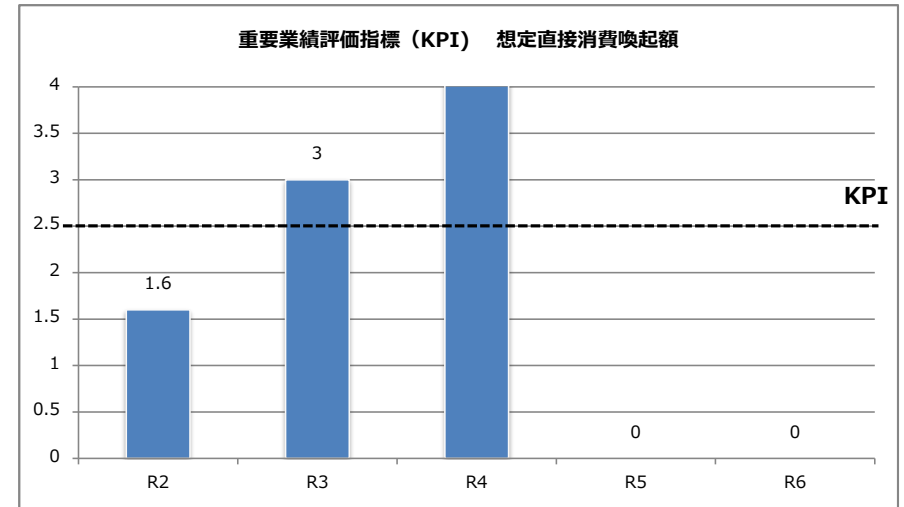
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標値（億円）	0.5	1	1.5	2	2.5
実績値（億円）	1.6	3.0	4.2		
目標に対する達成率	320.0%	300.0%	280.0%	0.0%	0.0%
現状値に対する増減率	-	-	-	-	-
評価	◎	◎	◎		
目標 [PLAN]	村内の商工会加入店舗等で使用可能なプレミアム商品券を発行すること等により、村内での購買・消費の拡大を図り、地域経済の活性化を促進します。				
実績（具体的な 取組内容） [DO]	収束が見通せないコロナ禍により、甚大な影響を受けた村内商工事業者を支援するため、20%のプレミアムが付いた商品券の発行(発行額1億円、消費喚起額1億2,000万円)を実施しました。				
分析 [CHECK]	建築関係、自動車整備関係及び小売事業者等の売上の向上に繋がりましたが、利用される業種に偏りがあります。				
対応方針 [ACTION]	コロナ禍による村内経済へのダメージは大きく、消費喚起に資する事業の実施を継続していく必要があります。業種の偏りについては、商工会と検討していくべき課題と考えています。				
備考	地方創生臨時交付金				

年度ごとの評価

◎	目標値以上
○	現状値以上目標値未満
△	現状値未満
-	進捗なし・事業終了

総合評価

◎	目標以上に進捗・効果あり
○	ほぼ目標通りに進捗・やや効果あり
△	目標を下回っている・あまり効果なし
-	目標値・事業の見直し等が必要



総合戦略会議による検証評価

意見等	なし
総合評価	◎ 目標以上に進捗・効果あり

第二期高山村総合戦略効果検証シート

基本目標	1 むらにしごとをつくり、安心して働けるようにする
主な施策	1-⑤ 起業支援及び事業承継支援の充実
担当課	産業振興課
重要業績評価指標（KPI）目標値	事業所起業件数 15件
現状値	0件

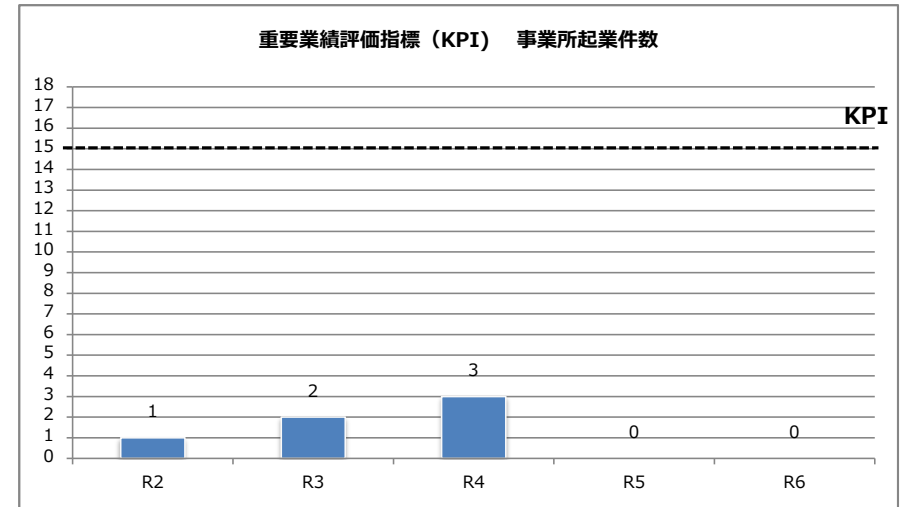
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標値（件）	3	6	9	12	15
実績値（件）	1	2	3		
目標に対する達成率	33.3%	33.3%	33.3%	0.0%	0.0%
現状値に対する増減率	-	-	-	-	-
評価	○	○	○		
目標 [PLAN]	本村の強み、特色等を活かし、本村での起業に対する意欲喚起と動機づけを行うとともに、本村での就労に関する各種情報提供や経営指導、融資・補助制度の充実等により、時代に即した起業支援の強化を図ります。また、事業承継にかかる費用の一部を助成するなど、村内事業所の円滑な事業承継及び「第二創業」など既存事業所の新規事業展開を支援します。				
実績（具体的な 取組内容） [DO]	令和3年度に「高山村創業支援補助金」の対象者を拡大し、新規創業だけではなく創業から3年以内の事業者や新分野への進出する事業者も対象としました。令和4年度は新規起業が1件ありました。				
分析 [CHECK]	令和4年度においては、新規起業が1件となりました。コロナ禍による経済状況が停滞する中で、起業するには大変厳しい環境となっています。中でも起業を希望する方に対しては、事業計画策定や資金繰り等の相談に応じ、商工会や金融機関等との連携を深めていく必要があります。				
対応方針 [ACTION]	今後も新規起業や起業後の経営安定を支援するため、補助金の活用を促進していきます。また、商工会や金融機関等と連携し、事業計画や資金繰り等に係る相談事業や研修事業等の内容の充実に努めます。				
備考					

年度ごとの評価

◎	目標値以上
○	現状値以上目標値未満
△	現状値未満
-	進捗なし・事業終了

総合評価

◎	目標以上に進捗・効果あり
○	ほぼ目標通りに進捗・やや効果あり
△	目標を下回っている・あまり効果なし
-	目標値・事業の見直し等が必要



総合戦略会議による検証評価

意見等	なし
総合評価	○ ほぼ目標通りに進捗・やや効果あり

第二期高山村総合戦略効果検証シート

基本目標	1 むらにしごとをつくり、安心して働けるようにする
主な施策	1-⑥ 企業等の誘致
担当課	産業振興課
重要業績評価指標（KPI）目標値	新規企業等立地件数 2件
現状値	0件

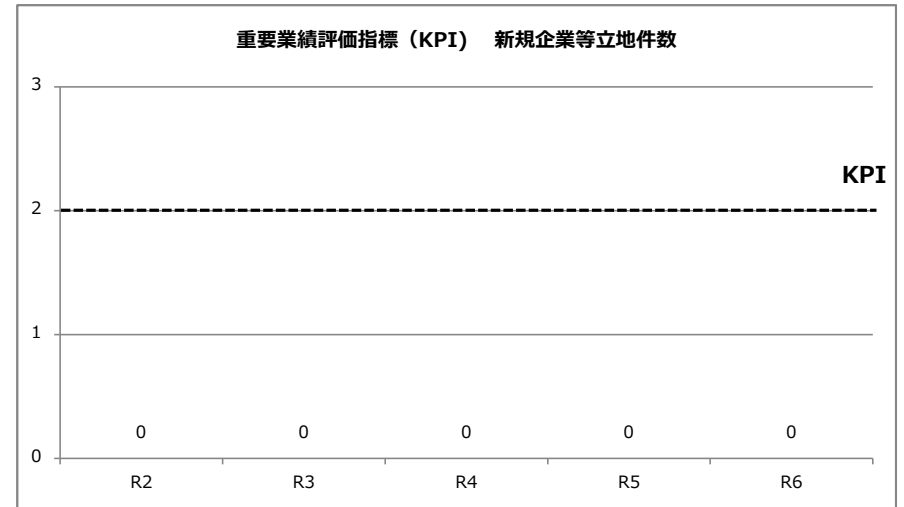
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標値（件）	1	1	1	2	2
実績値（件）	0	0	0		
目標に対する達成率	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
現状値に対する増減率	-	-	-	-	-
評価	-	-	-		
目標 [PLAN]	商工業分野のみならず、環境分野や福祉分野など地域課題に対応し、かつ今後成長が見込まれる分野における企業等の立地を促進し、雇用の創出を図ります。				
実績（具体的な 取組内容） [DO]	令和4年度の企業立地の実績はありません。				
分析 [CHECK]	現在のところ、工場等の立地に資する用地が確保されていないことから、企業立地に係る問い合わせはほぼない状況です。				
対応方針 [ACTION]	現時点では企業立地等の具体的な計画はなく、受け入れできる用地も確保されていないことから、工場等の建設のニーズを把握しつつ村内土地利用の方向性を定めていく必要があると考えています。				
備考					

年度ごとの評価

◎	目標値以上
○	現状値以上目標値未満
△	現状値未満
-	進捗なし・事業終了

総合評価

◎	目標以上に進捗・効果あり
○	ほぼ目標通りに進捗・やや効果あり
△	目標を下回っている・あまり効果なし
-	目標値・事業の見直し等が必要



総合戦略会議による検証評価

意見等	なし
総合評価	△ 目標を下回っている・あまり効果なし

第二期高山村総合戦略効果検証シート

基本目標	1 むらにしごとをつくり、安心して働けるようにする
主な施策	1-⑦ 産業活性化のための人材活用・連携
担当課	産業振興課
重要業績評価指標（KPI）目標値	産学官金労言との連携事業件数 11回
現状値	0回

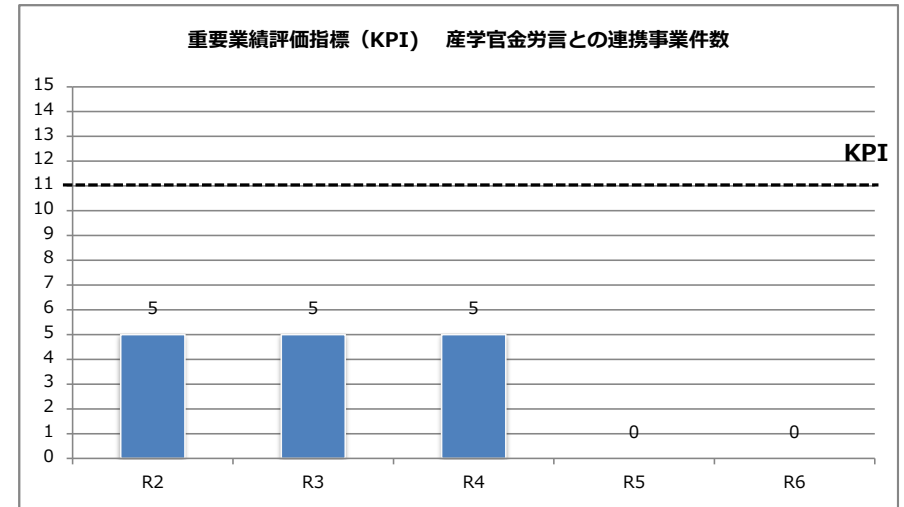
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標値（回）	2	4	6	8	11
実績値（回）	5	5	5		
目標に対する達成率	250.0%	125.0%	83.3%	0.0%	0.0%
現状値に対する増減率	-	-	-	-	-
評価	◎	◎	△		
目標 [PLAN]	地域産業の活性化の取組みに関する知見やノウハウを有する外部の専門家等を招聘し、指導・助言を受けながら、本村の魅力を最大限引き出し、産業活性化に資する人材の育成を図ります。				
実績（具体的な 取組内容） [DO]	長引くコロナ禍で経済状況は厳しい状況ですが、地域の事業者育成のため、長野信用金庫が主催する「創業カレッジ」や「しみせチャレンジ」、須坂商工会議所が主催する「須高未来塾」が開催されました。また、自治体や企業団体等が主催する「産業フェアin信州」が開催され、地域産業がPRされました。				
分析 [CHECK]	本年度の実施事業は4事業でしたが、村内関係者の参加はありませんでした。				
対応方針 [ACTION]	今後もコロナ禍により事業者の経営環境は厳しい状況が続くものと思われませんが、地域産業を支える人材の育成・確保のために、研修事業やPR活動は有意義であるため、引き続き実施するよう関係団体との連携を深めていきます。また、村内関係者の参加を増やすため、PR活動に努めます。				
備考					

年度ごとの評価

◎	目標値以上
○	現状値以上目標値未満
△	現状値未満
-	進捗なし・事業終了

総合評価

◎	目標以上に進捗・効果あり
○	ほぼ目標通りに進捗・やや効果あり
△	目標を下回っている・あまり効果なし
-	目標値・事業の見直し等が必要



総合戦略会議による検証評価

意見等	なし
総合評価	△ 目標を下回っている・あまり効果なし

第二期高山村総合戦略効果検証シート

基本目標	2 むらへの新しいひとの流れをつくる
主な施策	
担当課	住民税務課
重要業績評価指標 (KPI) 目標値	社会移動（転出入数の差し引き） △ 3 人
現状値	△ 19 人 (H27～R元平均)

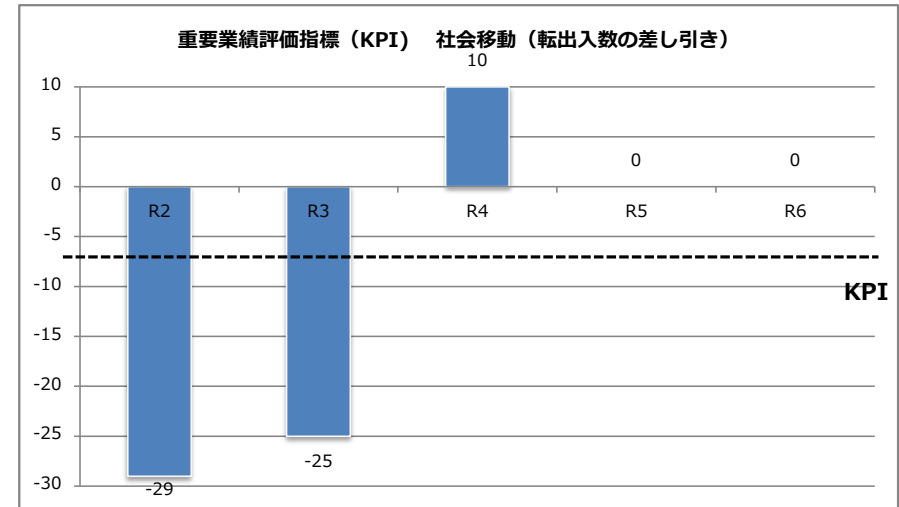
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標値 (人)	△ 18	△ 14	△ 10	△ 6	△ 3
実績値 (人)	△ 29	△ 25	10		
目標に対する達成率	62.1%	56.0%	-100.0%		
現状値に対する増減率	65.5%	76.0%	0.0%		
評価	△	△	◎		
目標 [PLAN]	四季折々の自然と美しい風景に囲まれた本村での暮らしの魅力を発信しつつ、定住・移住を促進するとともに、本村を訪れ、関わる「交流人口」及び「関係人口」の拡大を図ります。				
実績 (具体的な取組内容) [DO]	結婚や子育てに対する支援や、新規就農者等への支援策など多様な対策を講じています。進学等による転出が多い一方で、コロナ禍における行動制限の緩和に伴う村内企業における外国人研修生の受け入れが積極的に行われたことなどから、本年は目標値を上回る結果となりました。				
分析 [CHECK]	若年層が進学や就職を機に東京圏等へ転出するケースとともに、結婚を機に夫婦のみの生活を求め近隣市町の集合住宅に転出するケースが増えています。				
対応方針 [ACTION]	若者の一時的な居住地の確保策の検討や、空き家対策の実施による住宅の確保とともに、「おしごとながの」などの活用により就業の場の確保を図ります。				
備考					

年度ごとの評価

◎	目標値以上
○	現状値以上目標値未満
△	現状値未満
—	進捗なし・事業終了

総合評価

◎	目標以上に進捗・効果あり
○	ほぼ目標通りに進捗・やや効果あり
△	目標を下回っている・あまり効果なし
—	目標値・事業の見直し等が必要



総合戦略会議による検証評価

意見等	なし
総合評価	◎ 目標以上に進捗・効果あり

第二期高山村総合戦略効果検証シート

基本目標	2 むらへの新しいひとの流れをつくる
主な施策	2-④ 高山村らしさを活かした観光資源の充実と活用
担当課	産業振興課
重要業績評価指標（KPI）目標値	年間観光客延べ利用者数 550,000人
現状値	520,740 人（H27～R元平均）

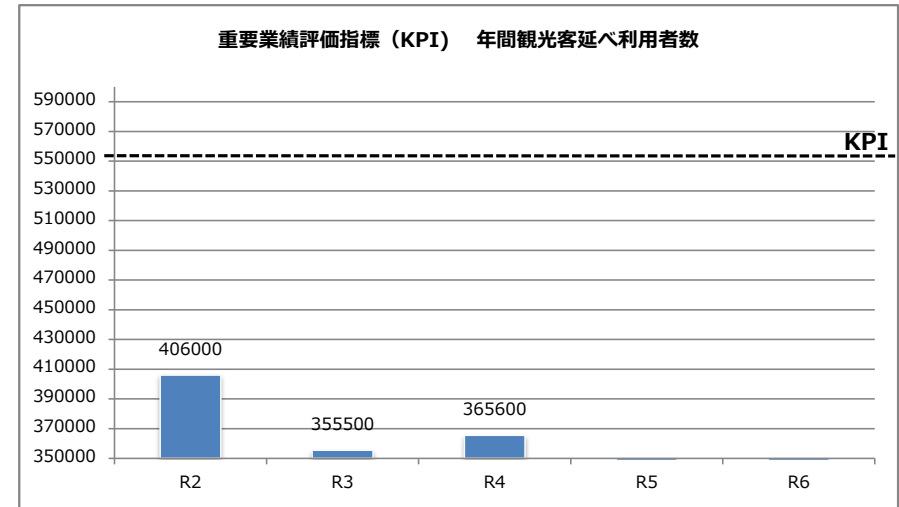
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標値（人）	527,000	533,000	539,000	545,000	550,000
実績値（人）	406,000	355,500	365,600		
目標に対する達成率	77.0%	66.7%	67.8%	0.0%	0.0%
現状値に対する増減率	78.0%	68.3%	70.2%	0.0%	0.0%
評価	△	△	△		
目標 [PLAN]	桜や紅葉、温泉、スキー、トレッキングや農産物直売等、四季折々の観光につながる資源の整備・活用を促進するとともに、村の歴史・文化や志賀高原ユネスコエコパーク、「日本で最も美しい村」連合加盟など本村固有の魅力を活用した誘客を図ります。加えて、「ワイン」や「星」など新たな観光資源に注目し、体験型、参加型、交流型等の要素を取り入れた村民主導の観光プロモーションを推進します。				
実績（具体的な取組内容） [DO]	コロナ禍により旅行者が激減している状況が続いています。この中でも、令和4年度は御帳帳などの大型催事が開催されたこともあり、前年度よりも若干増加しました。また、鉄道会社や北陸方面等の民放テレビ局と連携した広告宣伝事業などを実施し誘客に努めましたが、大幅な旅行者数の回復には至りませんでした。				
分析 [CHECK]	村内観光事業者は、各種イベントの開催をはじめ、様々な工夫や対策を行っていますが、引き続き難しい経営を迫られる状況となっています。				
対応方針 [ACTION]	今年度においても国の臨時交付金を活用し、事業継続給付金や温泉使用料減免等を実施し、観光事業者の事業継続の支援を行いました。観光客の減少が長引いている影響は甚大となっています。このため、引き続きテレビ番組の制作及び鉄道会社と連携したPRなどを行い、誘客施策を実行していきます。				
備考	地方創生臨時交付金				

年度ごとの評価

◎	目標値以上
○	現状値以上目標値未満
△	現状値未満
—	進捗なし・事業終了

総合評価

◎	目標以上に進捗・効果あり
○	ほぼ目標通りに進捗・やや効果あり
△	目標を下回っている・あまり効果なし
—	目標値・事業の見直し等が必要



総合戦略会議による検証評価

意見等	この村には観光資源が多くありポテンシャルが高いため、将棋名人戦等の機会を捉え、広くそして長くPR活動を展開するよう検討してほしい。 雷滝のトイレを改修してほしい。 長野駅からの移動手段を確保してほしい。
総合評価	△ 目標を下回っている・あまり効果なし

第二期高山村総合戦略効果検証シート

基本目標	2 むらへの新しいひとの流れをつくる
主な施策	2-② インバウンド対策の推進
担当課	産業振興課
重要業績評価指標（KPI）目標値	外国人観光客数 1,500人
現状値	935人（H30年度）

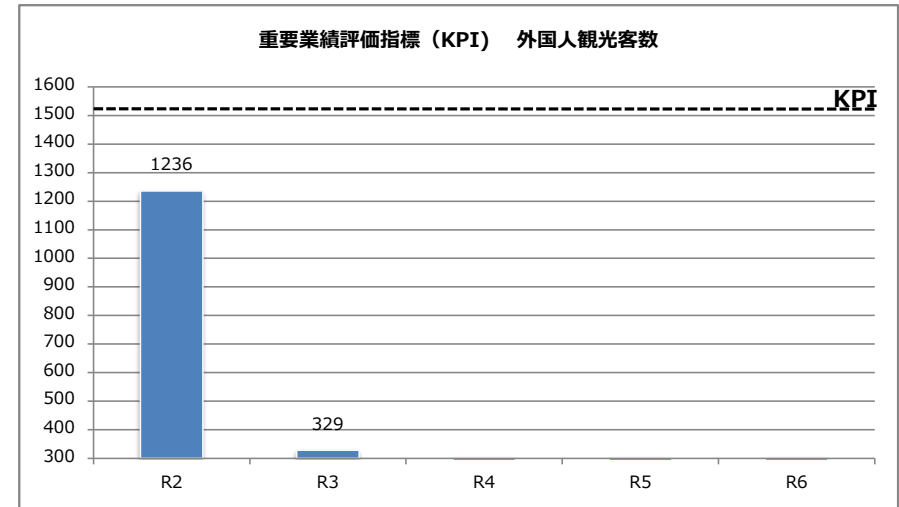
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標値（人）	1,100	1,200	1,300	1,400	1,500
実績値（人）	1,236	329	0		
目標に対する達成率	112.4%	27.4%	0.0%	0.0%	0.0%
現状値に対する増減率	132.2%	35.2%	0.0%	0.0%	0.0%
評価	◎	△	△		
目標 [PLAN]	HPやSNS、海外メディア等を通じて本村の魅力を積極的に発信し、外国人の誘客を推進するとともに、来村する外国人が村の魅力を満喫し、安全・安心して過ごすことができるよう、看板・パンフレット等の外国語対応やWi-Fi環境の整備、キャッシュレス対応支援、価値観を尊重したおもてなしなど、受入れ体制の整備を推進します。				
実績（具体的な 取組内容） [DO]	実績値は、県の「外国人観光客宿泊数調査」によるもので、集計時期の都合により、令和3年1月～12月の実績値が直近データとなります。 コロナ禍による外国人旅行客の受け入れ停止の影響を受けた形となっています。				
分析 [CHECK]	新型コロナウイルス感染防止に伴う入国制限の影響により、令和3年は皆減となりました。				
対応方針 [ACTION]	コロナ禍により効果検証が困難な状況ではありますが、様々なプロモーション活動等を通じて、コロナ禍後を見据えたインバウンドの受け入れを推進していきます。				
備考					

年度ごとの評価

◎	目標値以上
○	現状値以上目標値未満
△	現状値未満
—	進捗なし・事業終了

総合評価

◎	目標以上に進捗・効果あり
○	ほぼ目標通りに進捗・やや効果あり
△	目標を下回っている・あまり効果なし
—	目標値・事業の見直し等が必要



総合戦略会議による検証評価

意見等	この村には観光資源が多くありポテンシャルが高いため、外国人にその魅力が伝わるように、広くそして長くPR活動を展開するよう検討してほしい。
総合評価	△ 目標を下回っている・あまり効果なし

第二期高山村総合戦略効果検証シート

基本目標	2 むらへの新しいひとの流れをつくる
主な施策	2-③ 移住に向けた支援・情報発信の充実
担当課	産業振興課・定住支援室
重要業績評価指標（KPI）目標値	移住相談件数 750件
現状値	0件

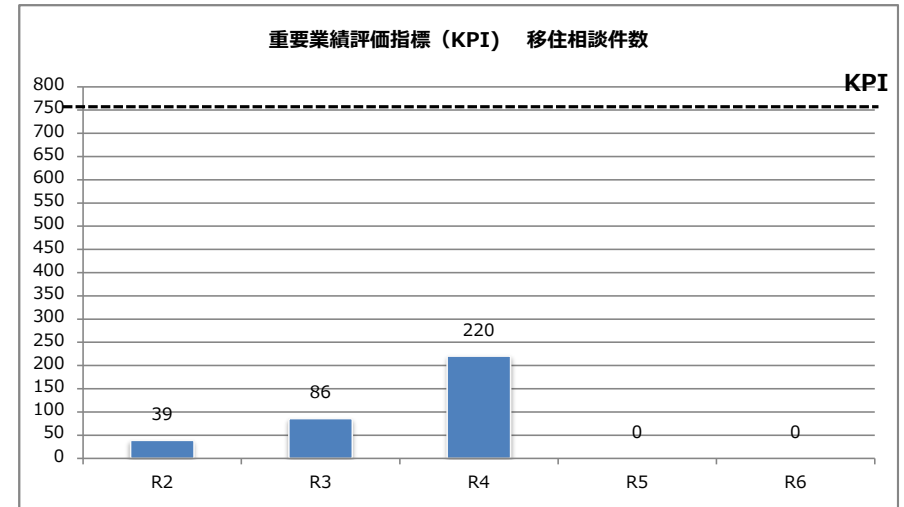
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標値（件）	150	300	450	600	750
実績値（件）	39	86	220		
目標に対する達成率	26.0%	28.7%	48.9%	0.0%	0.0%
現状値に対する増減率	-	-	-	-	-
評価	○	○	○		
目標 [PLAN]	本村の移住先としての魅力をPRするため、様々な機会や媒体を通じた積極的な情報発信を行います。また、本村への移住を希望・検討する人に対する相談や移住環境の整備、移住希望者等を対象としたイベントの開催や情報発信等によりの支援の充実を図ります。				
実績（具体的な 取組内容） [DO]	コロナ禍により対面での相談会が開催できなかったことから、移住者希望者向けに本村の移住先としての魅力を積極的に発信するソーシャルメディアを新たに設けました。また、オンラインの移住相談会の回数を増やしたほか、分野を問わず各種イベントに頻繁に参加し情報発信をするなど、気軽に相談できる環境づくりに努めました。				
分析 [CHECK]	相談会の回数を増やしたものの、相談件数としては昨年度と比較して大幅な増加は見られなかったため、今後は相談件数を伸ばすために相談者にあった最適な日程を設定するなどの工夫が重要となります。また、村の知名度が低く、相談に結びつかない事が多いので、効果的なPRの方法や媒体を調査・研究が必要と考えています。				
対応方針 [ACTION]	村の認知度を向上させることにより相談件数が増加すると考えており、ソーシャルメディアを活用して積極的なPRの推進を図ります。移住相談会は、相談希望者の多様なニーズに沿った気軽に相談できる場を設けるよう常に改善を行います。				
備考					

年度ごとの評価

◎	目標値以上
○	現状値以上目標値未満
△	現状値未満
—	進捗なし・事業終了

総合評価

◎	目標以上に進捗・効果あり
○	ほぼ目標通りに進捗・やや効果あり
△	目標を下回っている・あまり効果なし
—	目標値・事業の見直し等が必要



総合戦略会議による検証評価

意見等	村内出身者が高山村にUターンした場合に、奨学金の返済の一部を補助する等の支援をすれば、高山村に戻るきっかけになる。
総合評価	○ ほぼ目標通りに進捗・やや効果あり

第二期高山村総合戦略効果検証シート

基本目標	2 むらへの新しいひとの流れをつくる
主な施策	2-③ 移住に向けた支援・情報発信の充実
担当課	産業振興課・定住支援室
重要業績評価指標（KPI）目標値	移住相談参加者のうち、本村に移住した人の人数 50人
現状値	0人

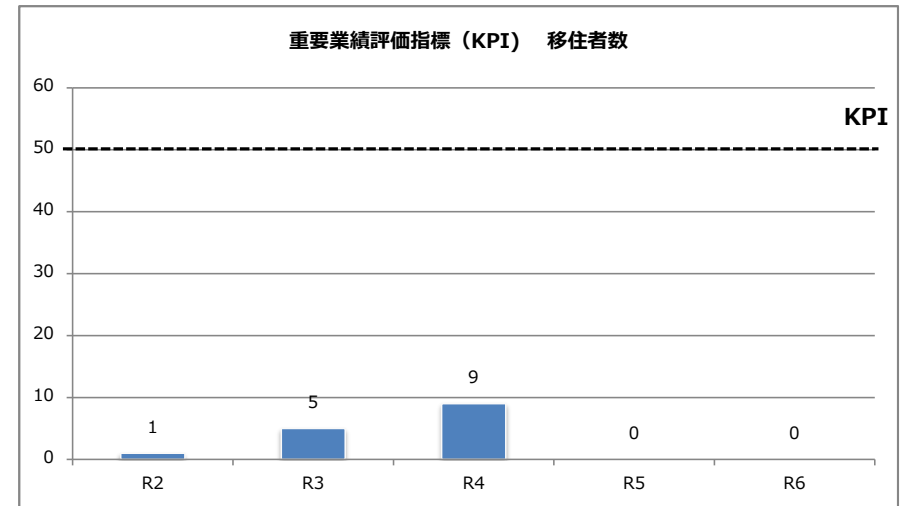
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標値（人）	10	20	30	40	50
実績値（人）	1	5	9		
目標に対する達成率	10.0%	25.0%	30.0%	0.0%	0.0%
現状値に対する増減率	-	-	-	-	-
評価	○	○	○		
目標 [PLAN]	本村の移住先としての魅力をPRするため、様々な機会や媒体を通じた積極的な情報発信を行います。また、本村への移住を希望・検討する人に対する相談や移住環境の整備、移住希望者等を対象としたイベントの開催や情報発信等によりの支援の充実に図ります。				
実績（具体的な 取組内容） [DO]	移住相談会の開催回数を昨年度の2倍に増やしたほか、分野を問わず多様なセミナーに参加し情報発信するなどして、移住希望者と直接に話し合う場を増やしたが、実際の移住者数は昨年度と同数の4人であった。				
分析 [CHECK]	移住希望者にとって「移住先の魅力」が最も大きな決め手になるため、相談会の回数を増やしたことのみでは、移住者は増加しないことを実感しました。 このため、今後は知名度の向上を図るために村内の魅力を広く発信することをまず優先的に取り組み、本村を移住者に興味を持ってもらう村に変えていく必要があります。				
対応方針 [ACTION]	ソーシャルメディアの多様な媒体を活用して積極的な村のPR活動を実施するとともに、イベントを通して村と深い繋がりを持った関係人口を生み出すことで、移住先の候補に挙げられるために興味を持ってもらう村への変貌を目指します。 また、村に移住した方向士が悩み等を共有するコミュニティを設けることで、安心して移住に臨める環境づくりを図ります。				
備考					

年度ごとの評価

◎	目標値以上
○	現状値以上目標値未満
△	現状値未満
-	進捗なし・事業終了

総合評価

◎	目標以上に進捗・効果あり
○	ほぼ目標通りに進捗・やや効果あり
△	目標を下回っている・あまり効果なし
-	目標値・事業の見直し等が必要



総合戦略会議による検証評価

意見等	なし
総合評価	○ ほぼ目標通りに進捗・やや効果あり

第二期高山村総合戦略効果検証シート

基本目標	2 むらへの新しいひとの流れをつくる
主な施策	2-③ 移住に向けた支援・情報発信の充実
担当課	定住支援室
重要業績評価指標（KPI）目標値	空き家バンク活用による契約件数 21件
現状値	0件

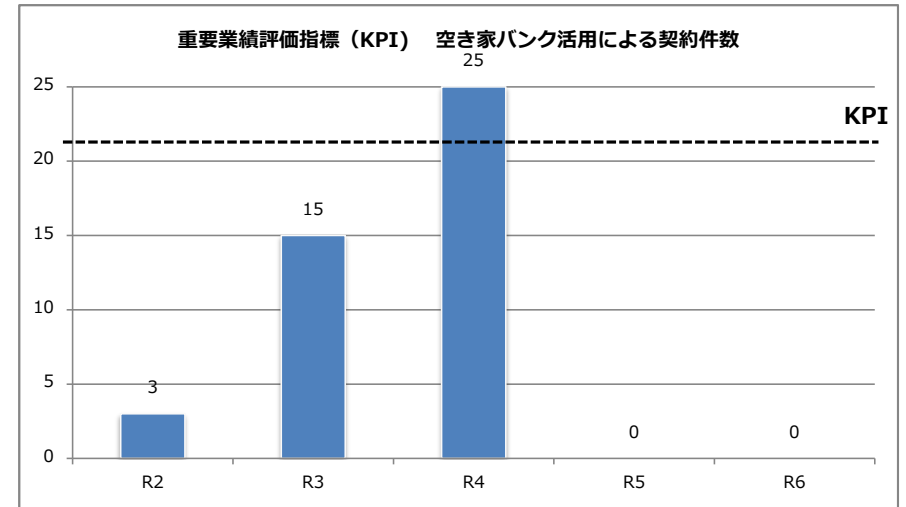
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標値（件）	4	8	12	16	21
実績値（件）	3	15	25		
目標に対する達成率	75.0%	187.5%	208.3%	0.0%	0.0%
現状値に対する増減率	-	-	-	-	-
評価	○	◎	◎		
目標 [PLAN]	本村の移住先としての魅力をPRするため、様々な機会や媒体を通じた積極的な情報発信を行います。また、本村への移住を希望・検討する人に対する相談や移住環境の整備、移住希望者等を対象としたイベントの開催や情報発信等によりの支援の充実を図ります。				
実績（具体的な 取組内容） [DO]	①空き家実態調査の実施⇒空き家数155戸（累計値） ②高山村空家等対策計画の策定 ③空き家バンク新規登録件数⇒R1:3戸、R2:4戸、R3:13戸、R4:15戸（見込） ④成約件数⇒R2:3戸、R3:12戸、R4:10戸（見込）				
分析 [CHECK]	今年度は月1件の新規物件の登録を目標とし取組んだ結果、昨年度を上回る15戸の登録となり過去最高の登録数となる見込みです。一方、成約件数については、現状10件（成約手続き中3件）の実績見込みであり、昨年度を下回るものの一定の成約数は確保できたものと考えています。				
対応方針 [ACTION]	来年度は新たに地域おこし協力隊員を配置し、空き家バンク登録数の増加を図るとともに、空き家を活用した事業を展開することで新たな活用方法を提案し、成約数の増加を図ります。				
備考					

年度ごとの評価

◎	目標値以上
○	現状値以上目標値未満
△	現状値未満
-	進捗なし・事業終了

総合評価

◎	目標以上に進捗・効果あり
○	ほぼ目標通りに進捗・やや効果あり
△	目標を下回っている・あまり効果なし
-	目標値・事業の見直し等が必要



総合戦略会議による検証評価

意見等	なし
総合評価	◎ 目標以上に進捗・効果あり

第二期高山村総合戦略効果検証シート

基本目標	2 むらへの新しいひとの流れをつくる
主な施策	2-④ 移住・定住につながる居住環境の整備・充実
担当課	定住支援室
重要業績評価指標（KPI）目標値	定住・移住補助制度利用件数 14件
現状値	0件

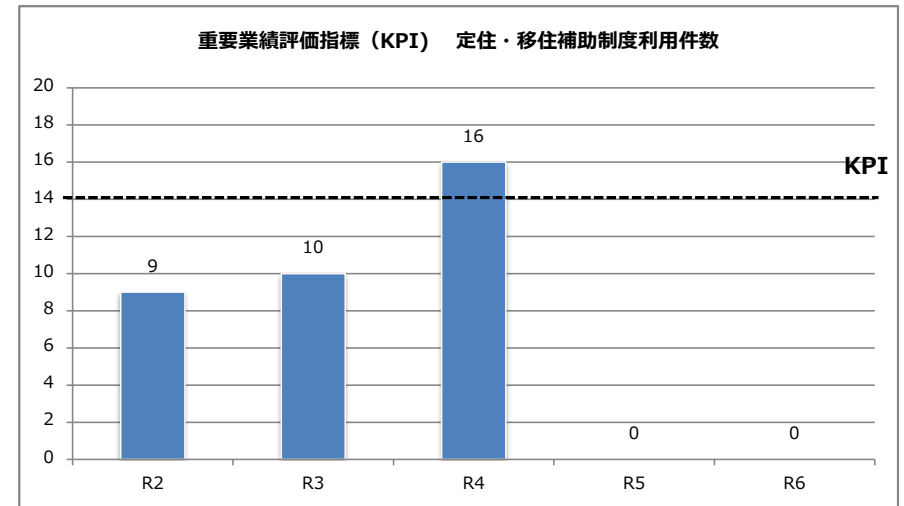
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標値（件）	3	6	9	12	14
実績値（件）	9	10	16		
目標に対する達成率	300.0%	166.7%	177.8%	0.0%	0.0%
現状値に対する増減率	-	-	-	-	-
評価	◎	◎	◎		
目標 [PLAN]	定住につながる新規住宅建設に対する融資利子補給や、村外からの移住者に対する補助制度の充実、就農希望者の居住環境の確保に努めるほか、村営住宅や宅地造成を促進します。また、過ごしやすい季節のみを暮らす二地域居住や、農作業研修をはじめ、期間限定で本村での生活を体験できるおためし居住の機会と環境整備を行い、移住を促進します。				
実績（具体的な 取組内容） [DO]	今年度は制度利用者数が16件と目標値を大きく上回り、非常に好評を得たと考えています。また、移住者、建築予定者、建築業者等に口頭、メール、村広報等の媒体を用い、制度の積極的な周知を行うことで、申請数の伸長に繋げ、定住促進に努めました。				
分析 [CHECK]	補助制度に分かりづらい部分があるため、見直しをする必要があると感じています。				
対応方針 [ACTION]	今年度の申請数を上回るよう、関係者に対し制度周知を引き続き継続します。また、移住希望者がどのような支援を求めているのかを把握し、定住者を厚く支援する村として認知していただけるよう工夫します。				
備考					

年度ごとの評価

◎	目標値以上
○	現状値以上目標値未満
△	現状値未満
-	進捗なし・事業終了

総合評価

◎	目標以上に進捗・効果あり
○	ほぼ目標通りに進捗・やや効果あり
△	目標を下回っている・あまり効果なし
-	目標値・事業の見直し等が必要



総合戦略会議による検証評価

意見等	結婚等を機に村を離れた子ども世帯が、村内に住宅を建築して戻ってきやすいように制度の周知を行ってほしい。
総合評価	◎ 目標以上に進捗・効果あり

第二期高山村総合戦略効果検証シート

基本目標	2 むらへの新しいひとの流れをつくる
主な施策	2-④ 移住・定住につながる居住環境の整備・充実
担当課	定住支援室
重要業績評価指標（KPI）目標値	移住体験住宅 2戸
現状値	2戸（R元年度）

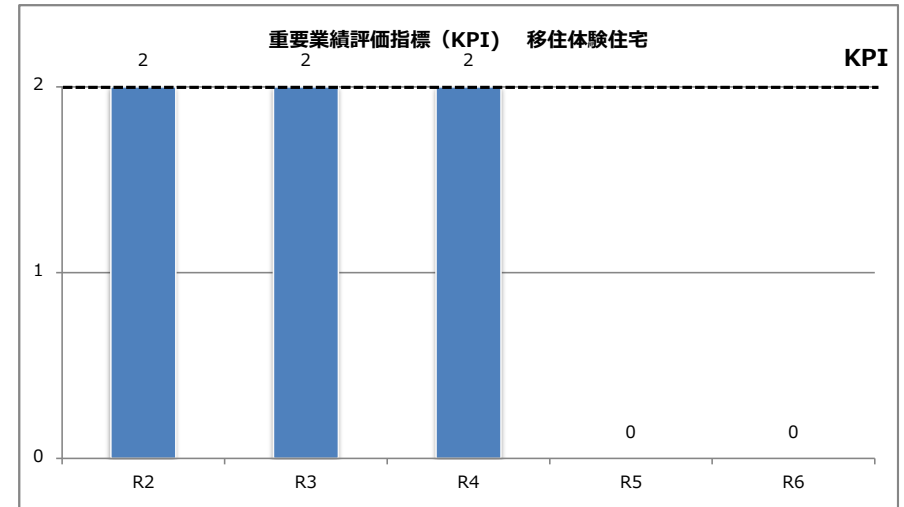
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標値（戸）	2	2	2	2	2
実績値（戸）	2	2	2		
目標に対する達成率	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%
現状値に対する増減率	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%
評価	◎	◎	◎		
目標 [PLAN]	定住につながる新規住宅建設に対する融資利子補給や、村外からの移住者に対する補助制度の充実、就農希望者の居住環境の確保に努めるほか、村営住宅や宅地造成を促進します。また、過ごしやすい季節のみを暮らす二地域居住や、農作業研修をはじめ、期間限定で本村での生活を体験できるおためし居住の機会と環境整備を行い、移住を促進します。				
実績（具体的な 取組内容） [DO]	今年度はおためし住宅の利用者受け入れを再開し、7件の利用がありました。各種セミナー、相談会の場で施設の紹介を行い利用を奨励することで、移住希望者に利用していただき、移住体験へのハードルを下げるとともに、村内の実情を肌で感じていただく機会に役立てることができました。				
分析 [CHECK]	コロナ禍以前の宿泊数には及ばないものの、今年度から施設の利用再開ということで実績を上げるとともに利用者の傾向を掴むことができました。利用者の増加を図るうえで、施設の存在を認知していただくことが最低条件であるため、今後とも各種媒体を通じた情報提供に尽力すべきと考えます。				
対応方針 [ACTION]	コロナ禍における宿泊施設運営になるので、引き続き試行錯誤しながら、感染防止対策を実施しつつ利用者が快適に過ごせるような空間作りに努めます。各種媒体を用いた村内PRの際には、移住体験施設としての紹介と利用の推奨を行うことで、移住体験のハードルを下げ、利用者数の向上を図ります。				
備考					

年度ごとの評価

◎	目標値以上
○	現状値以上目標値未満
△	現状値未満
—	進捗なし・事業終了

総合評価

◎	目標以上に進捗・効果あり
○	ほぼ目標通りに進捗・やや効果あり
△	目標を下回っている・あまり効果なし
—	目標値・事業の見直し等が必要



総合戦略会議による検証評価

意見等	なし
総合評価	◎ 目標以上に進捗・効果あり

第二期高山村総合戦略効果検証シート

基本目標	2 むらへの新しいひとの流れをつくる
主な施策	2-④ 移住・定住につながる居住環境の整備・充実
担当課	定住支援室
重要業績評価指標（KPI）目標値	村営住宅戸数 42戸
現状値	40戸（R元年度）

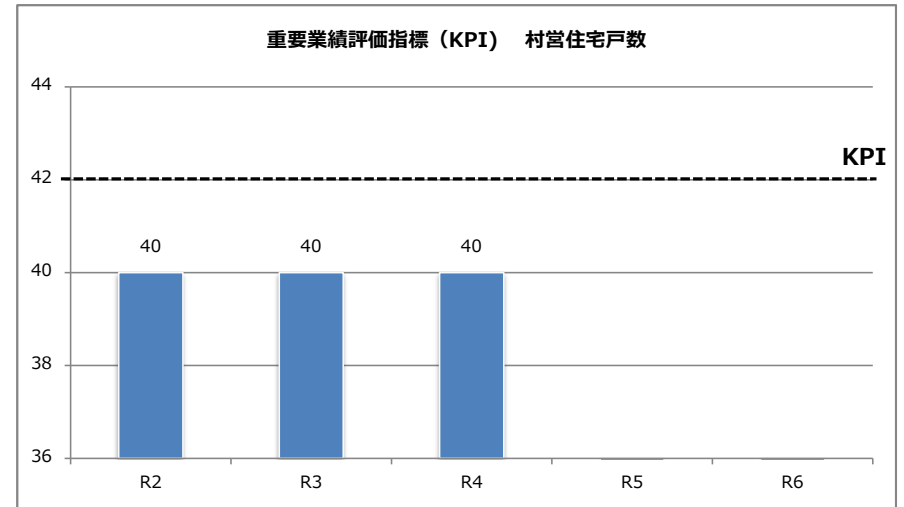
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標値（戸）	40	40	40	40	42
実績値（戸）	40	40	40		
目標に対する達成率	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%
現状値に対する増減率	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%
評価	◎	◎	◎		
目標 [PLAN]	定住につながる新規住宅建設に対する融資利子補給や、村外からの移住者に対する補助制度の充実、就農希望者の居住環境の確保に努めるほか、村営住宅や宅地造成を促進します。また、過ごしやすい季節のみを暮らす二地域居住や、農作業研修をはじめ、期間限定で本村での生活を体験できるおためし居住の機会と環境整備を行い、移住を促進します。				
実績（具体的な 取組内容） [DO]	居住環境の整備を進めるため、令和3年度に策定した村営住宅等長寿命化計画に基づいて、給湯器の交換等修繕工事を施工しました。				
分析 [CHECK]	村営住宅の整備に当たっては、村有地が無いため用地取得から進めなくてはならず、宅地造成と併せて推進する必要があります。				
対応方針 [ACTION]	新たな村営住宅の整備については、関連する事業との調整を図りながら検討します。				
備考					

年度ごとの評価

◎	目標値以上
○	現状値以上目標値未満
△	現状値未満
—	進捗なし・事業終了

総合評価

◎	目標以上に進捗・効果あり
○	ほぼ目標通りに進捗・やや効果あり
△	目標を下回っている・あまり効果なし
—	目標値・事業の見直し等が必要



総合戦略会議による検証評価

意見等	なし
総合評価	◎ 目標以上に進捗・効果あり

第二期高山村総合戦略効果検証シート

基本目標	2 むらへの新しいひとの流れをつくる
主な施策	2-④ 移住・定住につながる居住環境の整備・充実
担当課	定住支援室
重要業績評価指標（KPI）目標値	宅地造成件数 1件
現状値	0件（R元年度）

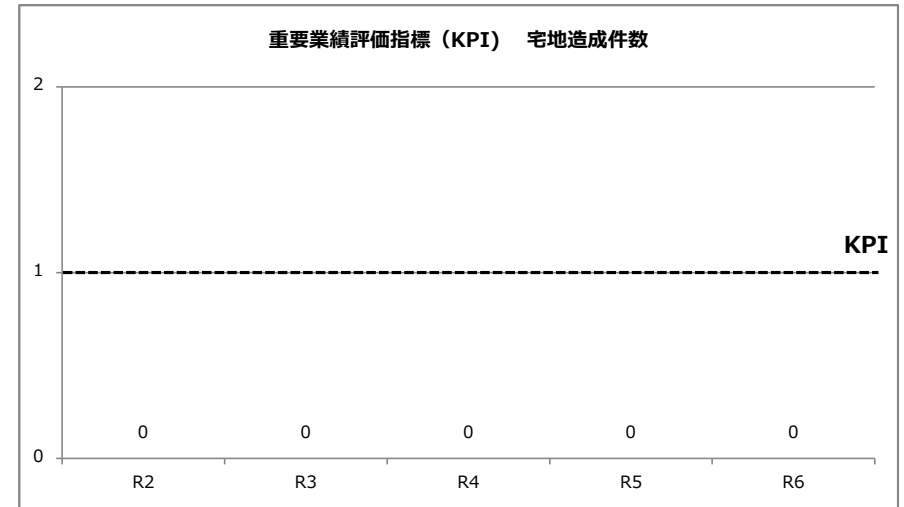
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標値（件）	0	0	0	0	1
実績値（件）	0	0	0		
目標に対する達成率	-	-	-		0.0%
現状値に対する増減率	-	-	-	-	-
評価	-	-	-		
目標 [PLAN]	定住につながる新規住宅建設に対する融資利子補給や、村外からの移住者に対する補助制度の充実、就農希望者の居住環境の確保に努めるほか、村営住宅や宅地造成を促進します。また、過ごしやすい季節のみを暮らす二地域居住や、農作業研修をはじめ、期間限定で本村での生活を体験できるおためし居住の機会と環境整備を行い、移住を促進します。				
実績（具体的な 取組内容） [DO]	造成地の検討を行っていますが、適地の選定には至りませんでした。				
分析 [CHECK]	宅地分譲希望者にとって良好な居住環境となる宅地造成候補地を検討するにあたっては、生活の利便性をはじめ、造成経費が抑制される地形や上下水道接続の容易性のほか、国庫補助事業の有無や村営住宅併設の検討、行政の許認可など、様々な手続き等が必要となります。				
対応方針 [ACTION]	宅地造成事業については、長期的な計画であり、時間と多額な費用が必要であるため、継続して不動産、建築業などの専門家の意見をお聞きして、事業実施の検討を進めていきます。				
備考					

年度ごとの評価

◎	目標値以上
○	現状値以上目標値未満
△	現状値未満
-	進捗なし・事業終了

総合評価

◎	目標以上に進捗・効果あり
○	ほぼ目標通りに進捗・やや効果あり
△	目標を下回っている・あまり効果なし
-	目標値・事業の見直し等が必要



総合戦略会議による検証評価

意見等	なし
総合評価	△ 目標を下回っている・あまり効果なし

第二期高山村総合戦略効果検証シート

基本目標	2 むらへの新しいひとの流れをつくる
主な施策	2-⑤ 地域おこし協力隊の活用・育成
担当課	総務課
重要業績評価指標（KPI）目標値	地域おこし協力隊員数 5人
現状値	0人（R元年度）

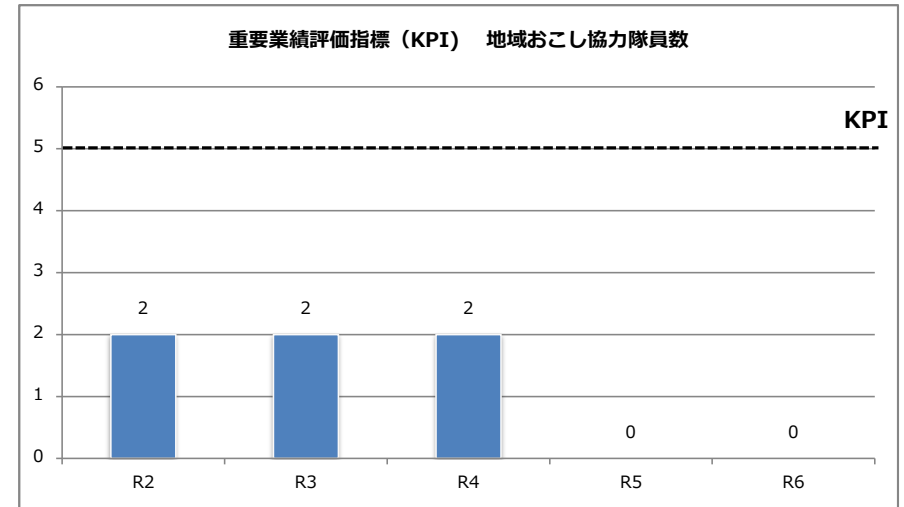
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標値（人）	1	2	3	4	5
実績値（人）	2	2	2		
目標に対する達成率	200.0%	100.0%	66.7%	0.0%	0.0%
現状値に対する増減率	-	-	-	-	-
評価	◎	◎	○		
目標 [PLAN]	一定期間、地域に居住して地域おこしの支援や住民の生活支援を行い、地域への定住・定着を促す「地域おこし協力隊」の積極的な活用を図ります。				
実績（具体的な取組内容） [DO]	令和4年度においても、令和2年度に採用した2名の隊員が村のPR業務等に従事しました。新たな取り組みとして、ネマガリタケ料理を提供する飲食店等をPRする「タケノコ街道」のパンフレット等の制作を行いました。				
分析 [CHECK]	昨年度制作した観光パンフレットは、以前のものと比べて在庫の減りが早いことから、PR効果が高いものと考えています。また、「タケノコ街道」の取組みは、テレビ番組で取り上げられるなど誘客に大きな効果がありました。				
対応方針 [ACTION]	任期満了後の隊員の定住を支援するとともに、新たに迎える隊員に十分な支援を行います。また、村の課題の絞り込みをしつつ、課題解決のための具体的な事業の構築を図ります。来年度は1名の隊員の採用予定であり、村の課題解決が図られるよう連絡を密にとり各事業を実施します。				
備考					

年度ごとの評価

◎	目標値以上
○	現状値以上目標値未満
△	現状値未満
-	進捗なし・事業終了

総合評価

◎	目標以上に進捗・効果あり
○	ほぼ目標通りに進捗・やや効果あり
△	目標を下回っている・あまり効果なし
-	目標値・事業の見直し等が必要



総合戦略会議による検証評価

意見等	なし
総合評価	○ ほぼ目標通りに進捗・やや効果あり

第二期高山村総合戦略効果検証シート

基本目標	2 むらへの新しいひとの流れをつくる
主な施策	2-⑥ 「関係人口」の創出・拡大
担当課	総務課
重要業績評価指標（KPI）目標値	ふるさと納税寄附金額 40,000千円
現状値	23,000 千円（R元年度）

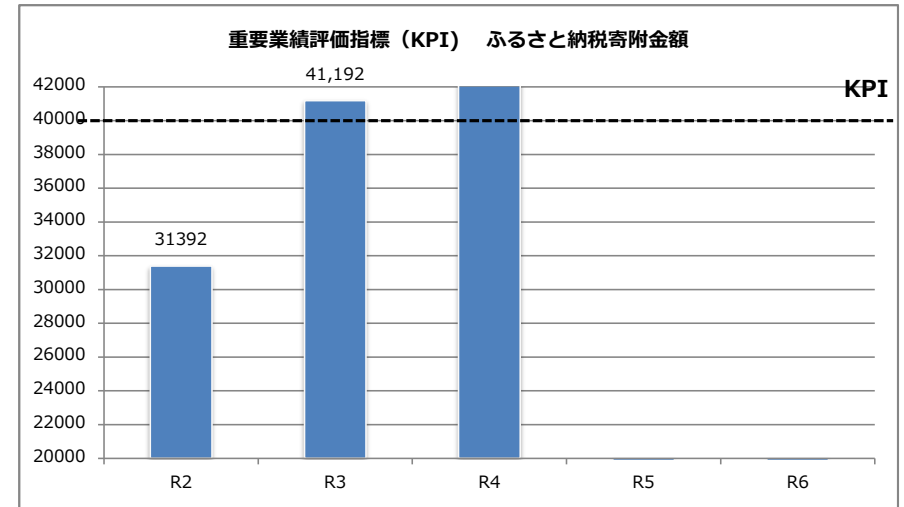
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標値（千円）	26,400	29,800	33,200	36,600	40,000
実績値（千円）	31,392	41,192	93,700		
目標に対する達成率	118.9%	138.2%	282.2%	0.0%	0.0%
現状値に対する増減率	136.5%	179.1%	407.4%	0.0%	0.0%
評価	◎	◎	◎		
目標 [PLAN]	多くの人が本村に関心を寄せ、本村との関わりを持ち、継続的に多様な形で本村と関わる「関係人口」の創出・拡大に向けて、そのきっかけとしての着地型観光や体験就農の推進、ふるさと納税制度によるふるさと寄附金の受入れ等の取組みを推進します。				
実績（具体的な 取組内容） [DO]	人気の高いぶどうの出品数が増えたことに伴い、寄附額が2倍以上に急増しました。更に寄附額を増加させるため、農業者等を対象として返礼品出品のための説明会を開催するなどの取組みを行っています。 R4（見込）：93,700千円、R3：41,192千円、R2：31,192千円				
分析 [CHECK]	シャインマスカット等のぶどうの出品数が増えたため、寄附額が急増しました。本村で収穫される果物の人気が高いことから、返礼品の種類や数量を増やすことの反響が大きいことが分かりました。				
対応方針 [ACTION]	今後も果物を中心として村の特産品の出品を増やし、寄附額の増加を図るため、農業従事者をはじめ村内の事業者への説明を積極的に行います。 また、担当職員の体制を強化しつつ、掲載サイトを増やすなど広報活動にも注力します。				
備考					

年度ごとの評価

◎	目標値以上
○	現状値以上目標値未満
△	現状値未満
—	進捗なし・事業終了

総合評価

◎	目標以上に進捗・効果あり
○	ほぼ目標通りに進捗・やや効果あり
△	目標を下回っている・あまり効果なし
—	目標値・事業の見直し等が必要



総合戦略会議による検証評価

意見等	なし
総合評価	◎ 目標以上に進捗・効果あり

第二期高山村総合戦略効果検証シート

基本目標	3 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる
主な施策	
担当課	健康福祉課
重要業績評価指標（KPI）目標値	合計特殊出生率 1.84
現状値	1.12（H27～R元平均）

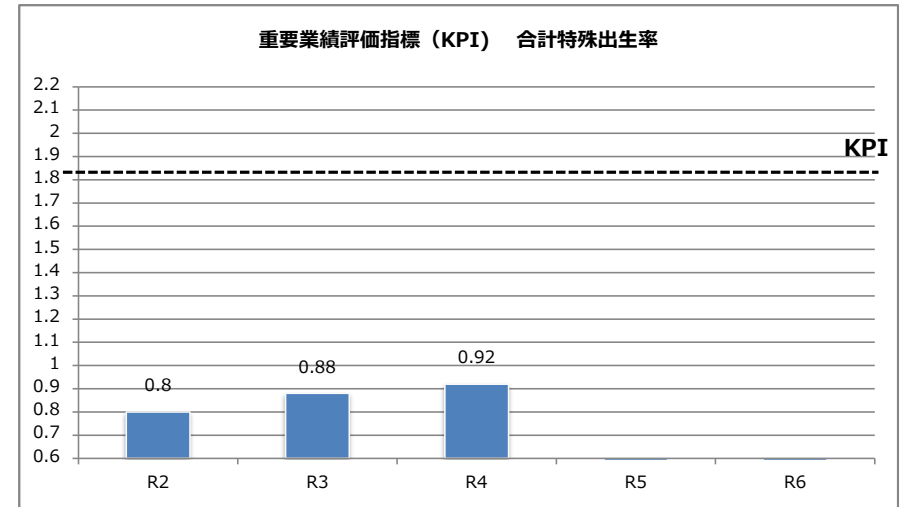
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標値	1.84	1.84	1.84	1.84	1.84
実績値	0.80	0.88	0.92		
目標に対する達成率	43.5%	47.8%	50.0%	0.0%	0.0%
現状値に対する増減率	71.4%	78.6%	82.1%	0.0%	0.0%
評価	△	△	△		
目標 [PLAN]	出会いの場の創出や妊娠期からの切れ目のない包括的な支援、地域ぐるみの子育て支援や子育てにかかる経済的負担の軽減を図り、本村で子どもを産み育てたいという希望を持ち、実現させるための支援を充実します。				
実績（具体的な 取組内容） [DO]	県と連携した結婚相談事業の実施や、結婚祝金（婚姻届提出後1年以上村に定住・20万円）や出産祝金（第1子3万円、第2子5万円、第3子以降7万円）並びに家庭育児給付金（3歳未満児・商品券2万円）の支給、福祉医療費として18歳までの医療費の無料化を実施しました。 コロナ禍により社会福祉協議会での婚活イベントの開催はできませんでしたが、村商工会及び長野地域中枢連携都市圏による婚活イベントは実施されました。				
分析 [CHECK]	出生率の低迷は、非婚化・晩婚化・少子化、あるいはコロナ禍による出会いの機会の減少などが要因として考えられます。				
対応方針 [ACTION]	現在取り組んでいる事業の継続と結婚支援にあたっては、相談事業の充実や長野地域中枢連携都市圏による婚活イベント事業の活用等により、広域的な出会いの場や機会を創出するなど引き続き推進していきます。				
備考					

年度ごとの評価

◎	目標値以上
○	現状値以上目標値未満
△	現状値未満
—	進捗なし・事業終了

総合評価

◎	目標以上に進捗・効果あり
○	ほぼ目標通りに進捗・やや効果あり
△	目標を下回っている・あまり効果なし
—	目標値・事業の見直し等が必要



総合戦略会議による検証評価

意見等	第2子、第3子を出産してもらえるような村独自施策を望む。
総合評価	△ 目標を下回っている・あまり効果なし

第二期高山村総合戦略効果検証シート

基本目標	3 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる
主な施策	
担当課	健康福祉課
重要業績評価指標（KPI）目標値	年間出生数 46人
現状値	34人（H27～R元平均）

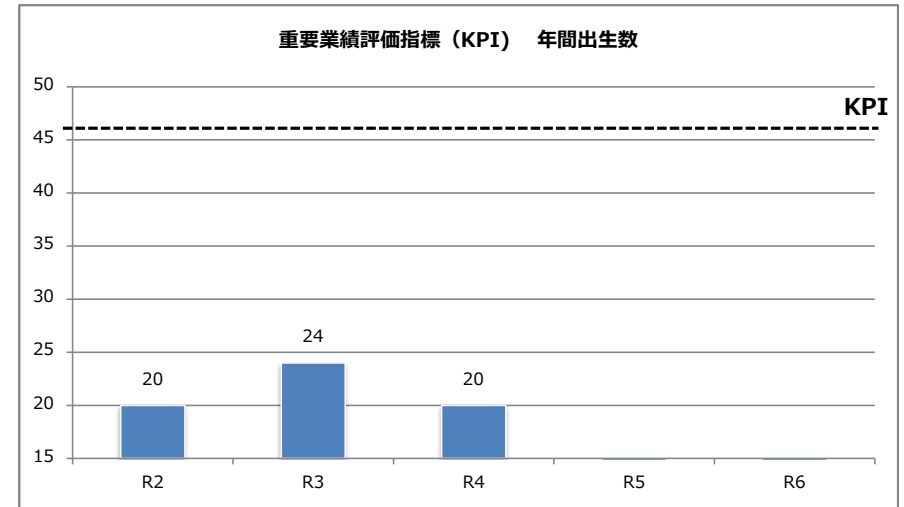
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標値（人）	46	46	46	46	46
実績値（人）	20	24	20		
目標に対する達成率	43.5%	52.2%	43.5%	0.0%	0.0%
現状値に対する増減率	58.8%	70.6%	58.8%	0.0%	0.0%
評価	△	△	△		
目標 [PLAN]	出会いの場の創出や妊娠期からの切れ目のない包括的な支援、地域ぐるみの子育て支援や子育てにかかる経済的負担の軽減を図り、本村で子どもを産み育てたいという希望を持ち、実現させるための支援を充実します。				
実績（具体的な 取組内容） [DO]	県と連携した結婚相談事業の実施や、結婚祝金（婚姻届提出後1年以上村に定住・20万円）や出産祝金（第1子3万円、第2子5万円、第3子以降7万円）並びに家庭育児給付金（3歳未満児・商品券2万円）の支給、福祉医療費として18歳までの医療費の無料化を実施しました。 コロナ禍により社会福祉協議会での婚活イベントの開催はできませんでしたが、村商工会及び長野地域中枢連携都市圏による婚活イベントは実施されました。				
分析 [CHECK]	出生数の低迷は、非婚化・晩婚化・少子化、あるいはコロナ禍による出会いの機会の減少などが要因として考えられます。				
対応方針 [ACTION]	現在取り組んでいる事業の継続と結婚支援にあたっては、相談事業の充実や長野地域中枢連携都市圏による婚活イベント事業の活用等により、広域的な出会いの場や機会を創出するなど引き続き推進していきます。				
備考					

年度ごとの評価

◎	目標値以上
○	現状値以上目標値未満
△	現状値未満
—	進捗なし・事業終了

総合評価

◎	目標以上に進捗・効果あり
○	ほぼ目標通りに進捗・やや効果あり
△	目標を下回っている・あまり効果なし
—	目標値・事業の見直し等が必要



総合戦略会議による検証評価

意見等	なし
総合評価	△ 目標を下回っている・あまり効果なし

第二期高山村総合戦略効果検証シート

基本目標	3 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる
主な施策	3-④ 結婚支援の充実
担当課	健康福祉課
重要業績評価指標（KPI）目標値	婚姻件数 20件（R2～R6平均）
現状値	15件（H27～R元平均）

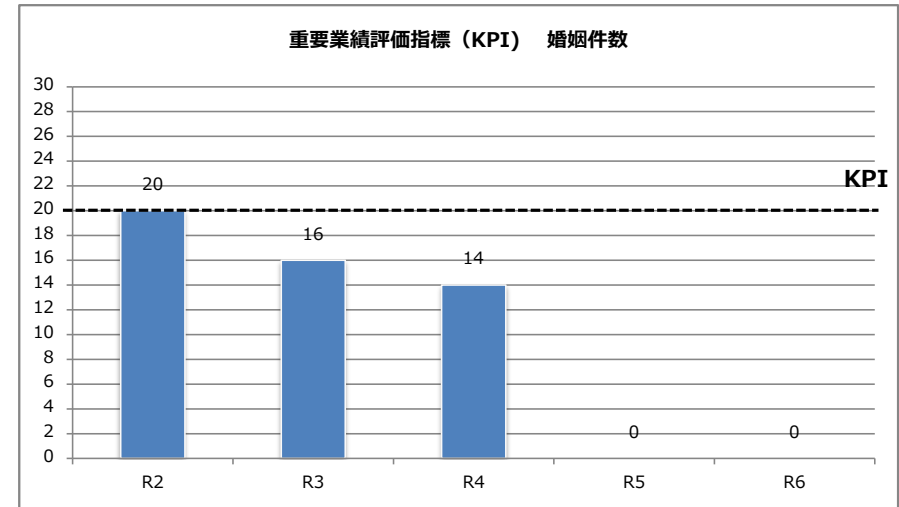
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標値（件）	20	20	20	20	20
実績値（件）	20	16	14		
目標に対する達成率	100.0%	80.0%	70.0%	0.0%	0.0%
現状値に対する増減率	133.3%	106.7%	93.3%	0.0%	0.0%
評価	◎	○	△		
目標 [PLAN]	結婚希望者に出会いの場を創出するため、他自治体や企業等との連携による婚活イベント等の実施により多数の参加を促すとともに、マリッジサポーター等による結婚相談支援の充実を図ります。また、結婚に要する経済的負担を軽減するための結婚祝金を支給し、結婚を支援します。				
実績（具体的な 取組内容） [DO]	県と連携した結婚相談事業の実施や、結婚祝金（婚姻届提出後1年以上村に定住・20万円）や出産祝金（第1子3万円、第2子5万円、第3子以降7万円）並びに家庭育児給付金（3歳未満児・商品券2万円）の支給、福祉医療費として18歳までの医療費の無料化を実施しました。 コロナ禍により社会福祉協議会での婚活イベントの開催はできませんでしたが、村商工会及び長野地域中枢連携都市圏による婚活イベントは実施されました。				
分析 [CHECK]	婚姻件数の低迷は、非婚化・晩婚化・少子化、あるいはコロナ禍による出会いの機会の減少などが要因として考えられます。				
対応方針 [ACTION]	現在取り組んでいる事業の継続と結婚支援にあたっては、相談事業の充実や長野地域中枢連携都市圏による婚活イベント事業の活用等により、広域的な出会いの場や機会を創出するなど引き続き推進していきます。				
備考					

年度ごとの評価

◎	目標値以上
○	現状値以上目標値未満
△	現状値未満
—	進捗なし・事業終了

総合評価

◎	目標以上に進捗・効果あり
○	ほぼ目標通りに進捗・やや効果あり
△	目標を下回っている・あまり効果なし
—	目標値・事業の見直し等が必要



総合戦略会議による検証評価

意見等	なし
総合評価	△ 目標を下回っている・あまり効果なし

第二期高山村総合戦略効果検証シート

基本目標	3 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる
主な施策	3-④ 結婚支援の充実
担当課	健康福祉課
重要業績評価指標（KPI）目標値	結婚支援イベント開催件数 15件
現状値	10件（H27～R元）

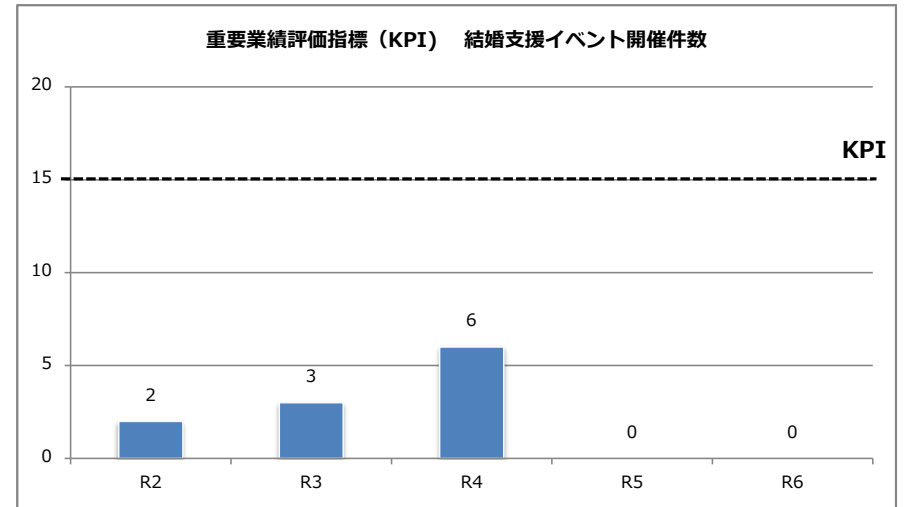
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標値（件）	3	6	9	12	15
実績値（件）	2	3	6		
目標に対する達成率	66.7%	50.0%	66.7%	0.0%	0.0%
現状値に対する増減率	20.0%	30.0%	60.0%	0.0%	0.0%
評価	○	○	○		
目標 [PLAN]	結婚希望者に出会いの場を創出するため、他自治体や企業等との連携による婚活イベント等の実施により多数の参加を促すとともに、マリッジサポーター等による結婚相談支援の充実を図ります。また、結婚に要する経済的負担を軽減するための結婚祝金を支給し、結婚を支援します。				
実績（具体的な 取組内容） [DO]	コロナ禍により社会福祉協議会の結婚イベントは開催できませんでしたが、村商工会の婚活イベント及び長野地域連携中枢都市圏結婚支援事業による移住婚活ツアーは、感染防止対策に努めながら予定通り開催することができました。				
分析 [CHECK]	村商工会主催のイベントは小規模で交流しやすいように工夫し、また、長野地域連携中枢都市圏結婚支援事業のツアーにおいては、開催日を2日間に分けて分散型とすることで、コロナ対策を図りながら効率的に開催でき、村内参加者の増加につながりました。				
対応方針 [ACTION]	今後も新型コロナウイルスの感染防止対策に努めながら、状況に見合った手法を研究し、段階的に規模を拡大しつつ、参加しやすいイベント開催を行っていきます。				
備考					

年度ごとの評価

◎	目標値以上
○	現状値以上目標値未満
△	現状値未満
—	進捗なし・事業終了

総合評価

◎	目標以上に進捗・効果あり
○	ほぼ目標通りに進捗・やや効果あり
△	目標を下回っている・あまり効果なし
—	目標値・事業の見直し等が必要



総合戦略会議による検証評価

意見等	なし
総合評価	○ ほぼ目標通りに進捗・やや効果あり

第二期高山村総合戦略効果検証シート

基本目標	3 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる
主な施策	3-④ 結婚支援の充実
担当課	健康福祉課
重要業績評価指標（KPI）目標値	結婚支援イベント参加者数 35人（R2～R6平均）
現状値	26人（H27～R元平均）

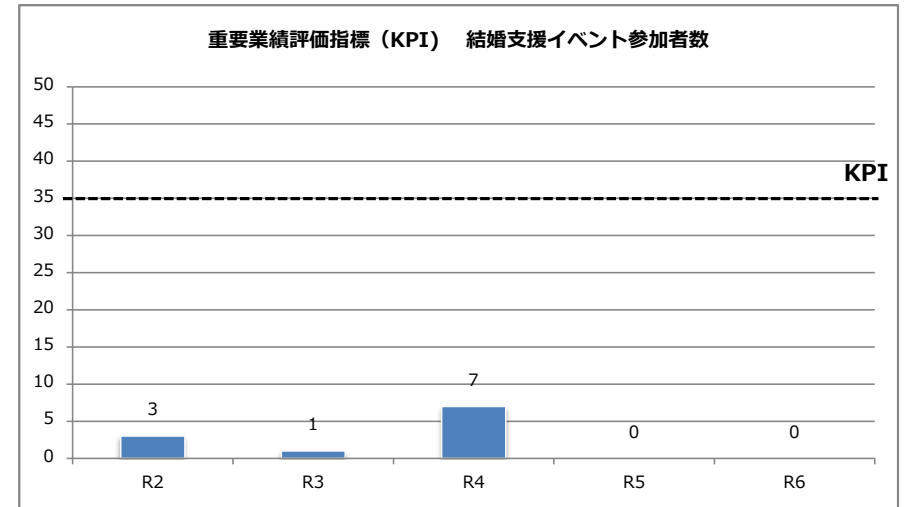
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標値（人）	35	35	35	35	35
実績値（人）	3	1	7		
目標に対する達成率	8.6%	2.9%	20.0%	0.0%	0.0%
現状値に対する増減率	11.5%	3.8%	26.9%	0.0%	0.0%
評価	△	△	△		
目標 [PLAN]	結婚希望者に出会いの場を創出するため、他自治体や企業等との連携による婚活イベント等の実施により多数の参加を促すとともに、マリッジサポーター等による結婚相談支援の充実を図ります。また、結婚に要する経済的負担を軽減するための結婚祝金を支給し、結婚を支援します。				
実績（具体的な 取組内容） [DO]	コロナ禍により社会福祉協議会の結婚イベントは開催できませんでしたが、村商工会及び長野地域連携中枢都市圏結婚支援事業による移住婚活ツアーは、感染防止対策に努めながら予定通り開催することができました。				
分析 [CHECK]	村商工会主催のイベントは小規模で交流しやすいように工夫し、また、長野地域連携中枢都市圏結婚支援事業のツアーにおいては、開催日を2日間に分けて分散型とすることで、コロナ対策を図りながら効率的に開催でき、村内参加者の増加につながりました。				
対応方針 [ACTION]	今後も新型コロナウイルスの感染防止対策に努めながら、状況に見合った手法を研究し、段階的に規模を拡大しつつ、参加しやすいイベント開催を行っていきます。				
備考					

年度ごとの評価

◎	目標値以上
○	現状値以上目標値未満
△	現状値未満
—	進捗なし・事業終了

総合評価

◎	目標以上に進捗・効果あり
○	ほぼ目標通りに進捗・やや効果あり
△	目標を下回っている・あまり効果なし
—	目標値・事業の見直し等が必要



総合戦略会議による検証評価

意見等	なし
総合評価	△ 目標を下回っている・あまり効果なし

第二期高山村総合戦略効果検証シート

基本目標	3 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる
主な施策	3-② 妊娠・出産支援の充実
担当課	住民税務課
重要業績評価指標（KPI）目標値	出産祝金支給件数 46件
現状値	30件（R元年度）

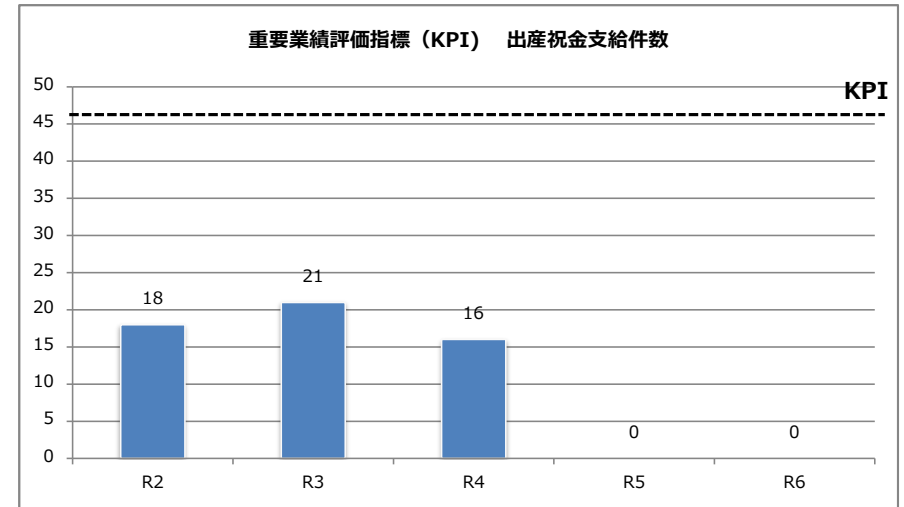
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標値（件）	33	36	39	42	46
実績値（件）	18	21	16		
目標に対する達成率	54.5%	58.3%	41.0%	0.0%	0.0%
現状値に対する増減率	60.0%	70.0%	53.3%	0.0%	0.0%
評価	△	△	△		
目標 [PLAN]	妊娠・出産期から子育て期にわたる切れ目のない相談支援体制の強化と母子保健の充実を図ります。また、希望する妊娠がかなうための支援の充実を図るとともに、安心して出産できるよう、関係機関等との連携による周産期医療体制の充実及び出産にかかる経済的負担の軽減を図ります。				
実績（具体的な 取組内容） [DO]	福祉医療費として18歳までの医療費の窓口無料化を図り、出産祝金（第1子3万円、第2子5万円、第3子以降7万円）や家庭育児に対する商品券の給付（1万円）を実施しました。				
分析 [CHECK]	各種制度について広報紙への掲載、届出等の際の窓口での案内、該当者への勧奨通知を実施するとともに、制度の適正な運用を図っており、経済的支援の充実につながるものと考えています。				
対応方針 [ACTION]	現行制度の維持とともに、積極的な周知と利用促進を図ります。				
備考					

年度ごとの評価

◎	目標値以上
○	現状値以上目標値未満
△	現状値未満
—	進捗なし・事業終了

総合評価

◎	目標以上に進捗・効果あり
○	ほぼ目標通りに進捗・やや効果あり
△	目標を下回っている・あまり効果なし
—	目標値・事業の見直し等が必要



総合戦略会議による検証評価

意見等	なし
総合評価	△ 目標を下回っている・あまり効果なし

第二期高山村総合戦略効果検証シート

基本目標	3 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる
主な施策	3-③ 子育てしやすい環境の充実
担当課	教育委員会
重要業績評価指標（KPI）目標値	子育てしやすい環境の充実 50.0%
現状値	38.6 % （H30年度）

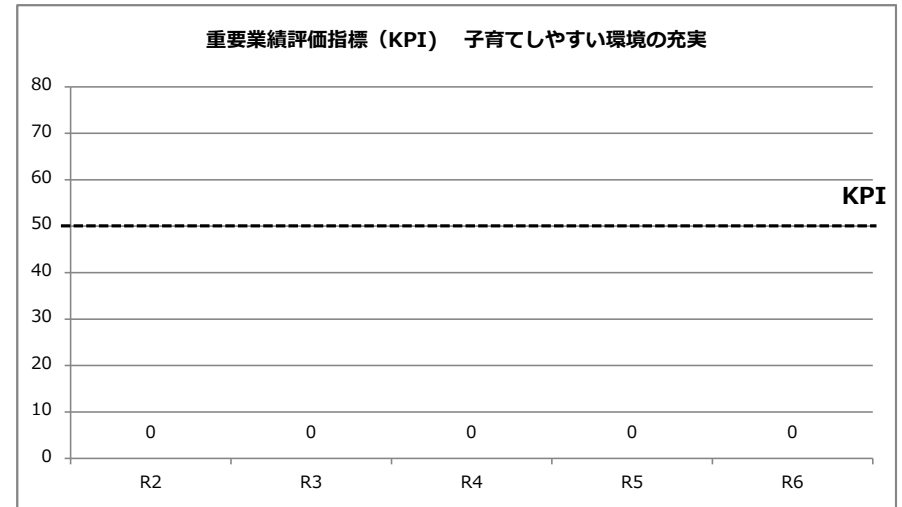
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標値（%）					50.0
実績値（%）					
目標に対する達成率					0.0%
現状値に対する増減率					0.0%
評価					
目標 [PLAN]	拡充整備された子育て支援センターのさらなる利用促進や放課後の子どもの居場所づくり、子育て家庭同士が気軽に集い、交流できる場の充実に努めます。また、就労意向の高まりに対応し、仕事と子育ての両立を支援するための環境整備を推進します。				
実績（具体的な取組内容） [DO]	登録した会員同士が支え合うファミリー・サポート・センターの事業は会員が増えることで環境が整ってきています。協議会を開催し、会員の声を聞いたり、救命講習会を実施することができました。また、たかやま保育園での一時保育の利用者は2月末で延べ672人、児童クラブ及び学童保育聖徳園の利用者は、2月末で延べ1,241人となっています。				
分析 [CHECK]	仕事と子育ての両立を支援するために、育児休業の延長取得や保育園での一時保育について案内するなど、育児休業から仕事へ復帰する保護者の相談に応じることができました。				
対応方針 [ACTION]	ファミリー・サポート・センターのチラシを保育園・小学校で配布し、広く周知を図るとともに、親子が利用しやすい環境づくりを心掛け、気軽に集い交流ができる場、安心して子育てができる場として、支援事業の実施を進めます。また、児童クラブ及び学童保育聖徳園が仕事を持つ保護者の支援につながるように、更なる環境整備を促進します。				
備考					

年度ごとの評価

◎	目標値以上
○	現状値以上目標値未満
△	現状値未満
—	進捗なし・事業終了

総合評価

◎	目標以上に進捗・効果あり
○	ほぼ目標通りに進捗・やや効果あり
△	目標を下回っている・あまり効果なし
—	目標値・事業の見直し等が必要



総合戦略会議による検証評価

意見等	なし
総合評価	

第二期高山村総合戦略効果検証シート

基本目標	3 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる
主な施策	3-③ 子育てしやすい環境の充実
担当課	教育委員会
重要業績評価指標（KPI）目標値	子育て支援センターわくわく・遊びの広場参加者数 3,800人
現状値	3,472 人（R元年度）

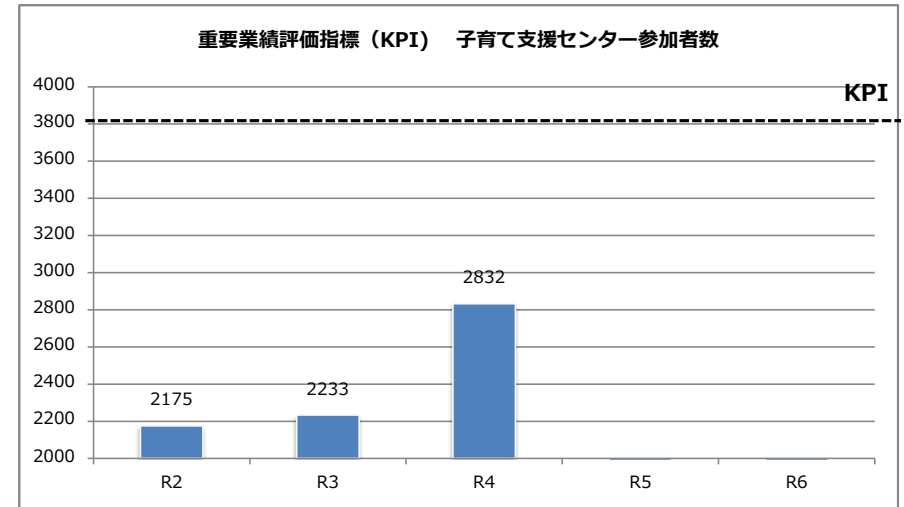
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標値（人）	3,537	3,602	3,667	3,732	3,800
実績値（人）	2,175	2,233	2,832		
目標に対する達成率	61.5%	62.0%	77.2%	0.0%	0.0%
現状値に対する増減率	62.6%	64.3%	81.6%	0.0%	0.0%
評価	△	△	△		
目標 [PLAN]	拡充整備された子育て支援センターのさらなる利用促進や放課後の子どもの居場所づくり、子育て家庭同士が気軽に集い、交流できる場の充実に努めます。また、就労意向の高まりに対応し、仕事と子育ての両立を支援するための環境整備を推進します。				
実績（具体的な取組内容） [DO]	常設の子育て支援センターができて3年目となり、今年度も村民のみの利用制限を設けてわくわく広場や子育てセミナーなどを開催しました。子育てセミナーでは外部講師への依頼を多くし、利用者の増加を図りました。コロナウィルス感染状況により利用者の増減はあったが、3月末で2832人の利用となる見込みです。				
分析 [CHECK]	子育てセミナーの外部講師への依頼を増やしたことで、参加者が増えたこともあり、利用者の興味や関心の高さが伺えます。また、併設の子育て世代包括支援センターには保健師が常駐しているので、育児相談や体重測定などを希望する親子も多く、安心できる場となっています。				
対応方針 [ACTION]	村ホームページを活用し支援センターを詳しく紹介するなど、親子が安心して利用しやすい施設づくりを心掛けていきます。				
備考	子ども・子育て支援交付金				

年度ごとの評価

◎	目標値以上
○	現状値以上目標値未満
△	現状値未満
—	進捗なし・事業終了

総合評価

◎	目標以上に進捗・効果あり
○	ほぼ目標通りに進捗・やや効果あり
△	目標を下回っている・あまり効果なし
—	目標値・事業の見直し等が必要



総合戦略会議による検証評価

意見等	なし
総合評価	△ 目標を下回っている・あまり効果なし

第二期高山村総合戦略効果検証シート

基本目標	3 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる
主な施策	3-④ 子育て世帯への経済的支援の充実
担当課	教育委員会
重要業績評価指標（KPI）目標値	少子化対策（経済的支援）に対する満足度 50.0%
現状値	38.6 % （H30年度）

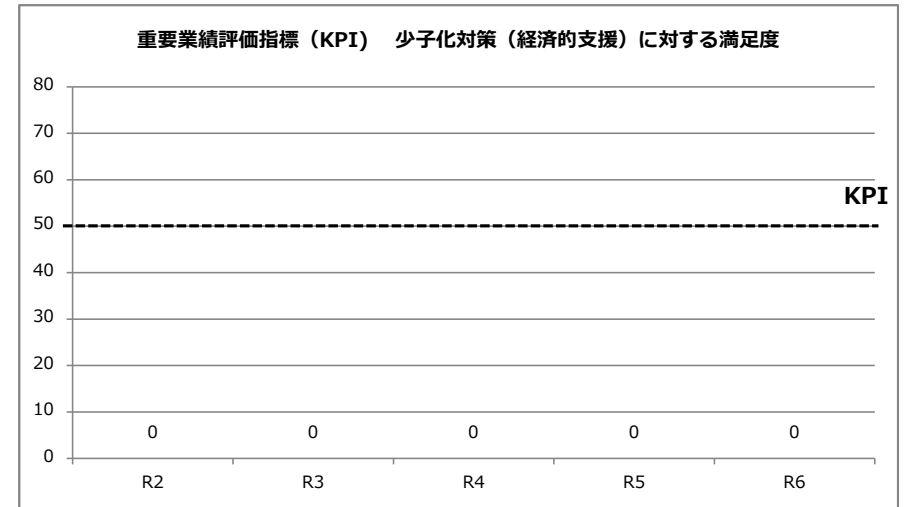
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標値（%）					50.0
実績値（%）					
目標に対する達成率					0.0%
現状値に対する増減率					0.0%
評価					
目標 [PLAN]	子育て世帯のニーズ把握に努めるとともに、各種手当等の制度の周知と利用促進を通じて、出産・育児や保育・学校教育等にかかる経済的支援の更なる充実を図ります。				
実績（具体的な 取組内容） [DO]	令和元年10月から幼保無償化とし、3歳以上の子どもの保育料と、3歳未満児の非課税世帯の保育料を無償としました。保育園等の全ての児童の副食費を無料とし、子育て世帯の費用負担軽減を図りました。また、小中学校の入学祝い金1人当たり1万円の交付を行ったほか、学校給食費は令和2年度から非課税世帯を無料とし、その他の世帯は保護者負担の1食140円を公費負担としました。平成30年度からは、公共バスを利用している高校生の通学費補助を実施しています。				
分析 [CHECK]	各種制度について広報紙やホームページへの掲載、窓口での説明、該当者への制度説明会の開催、転入者への説明を実施するとともに、制度の適正な運用を図っており、経済的支援の充実に資するものと考えています。				
対応方針 [ACTION]	学校給食費の公費負担については、今後も世帯の経済的支援を継続・拡大をしていく必要があります				
備考	高山村実費徴収に係る補足給付事業補助金 高山村高校生通学費補助金				

年度ごとの評価

◎	目標値以上
○	現状値以上目標値未満
△	現状値未満
—	進捗なし・事業終了

総合評価

◎	目標以上に進捗・効果あり
○	ほぼ目標通りに進捗・やや効果あり
△	目標を下回っている・あまり効果なし
—	目標値・事業の見直し等が必要



総合戦略会議による検証評価

意見等	なし
総合評価	

第二期高山村総合戦略効果検証シート

基本目標	4 魅力的で安心して暮らすことができるむらをつくる
主な施策	
担当課	総務課・定住支援室
重要業績評価指標（KPI）目標値	村に住み続けたいと思う村民の割合 80.0%以上
現状値	73.4 % （H30年度）

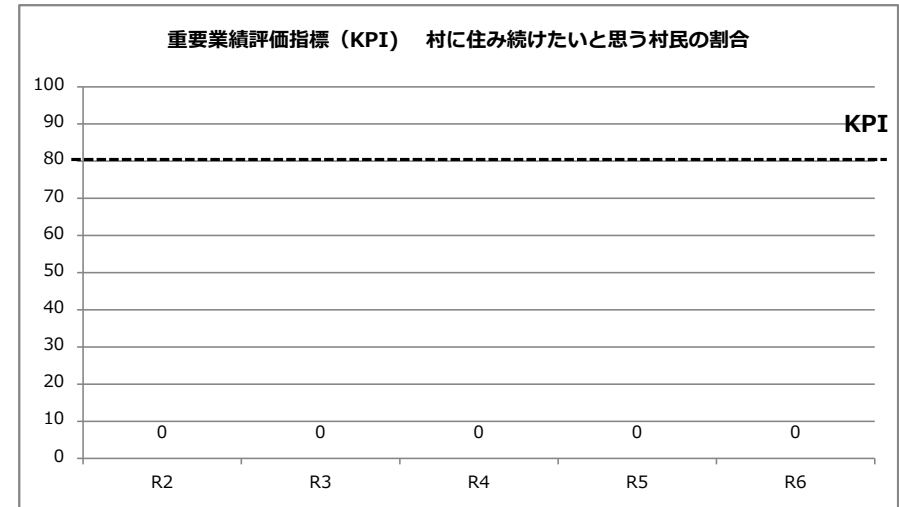
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標値（%）	-	-	-		80.0
実績値（%）	-	-	-		
目標に対する達成率	-	-	-		0.0%
現状値に対する増減率	-	-	-		0.0%
評価	-	-	-		
目標 [PLAN]	美しい自然環境や農村風景を守り、潤いと利便性のある安全・安心な生活環境の確保に努めるとともに、高山村らしい文化と暮らしの中で本村への誇りを持ち、いきいきと暮らすことのできるむらづくりを推進します。				
実績（具体的な 取組内容） [DO]	来年度実施を予定している第六次高山村総合計画後期基本計画の策定に係る村民アンケートにおいて目標を達成できるように、各種施策を着実に実行しています。				
分析 [CHECK]	/				
対応方針 [ACTION]	/				
備考					

年度ごとの評価

◎	目標値以上
○	現状値以上目標値未満
△	現状値未満
-	進捗なし・事業終了

総合評価

◎	目標以上に進捗・効果あり
○	ほぼ目標通りに進捗・やや効果あり
△	目標を下回っている・あまり効果なし
-	目標値・事業の見直し等が必要



総合戦略会議による検証評価

意見等	なし
総合評価	

第二期高山村総合戦略効果検証シート

基本目標	4 魅力的で安心して暮らすことができるむらをつくる
主な施策	4-④ 健康づくり・スポーツ活動の推進
担当課	健康福祉課
重要業績評価指標（KPI）目標値	YOU游ランド運動施設利用者数 11,100人
現状値	9,501人（R元年度）

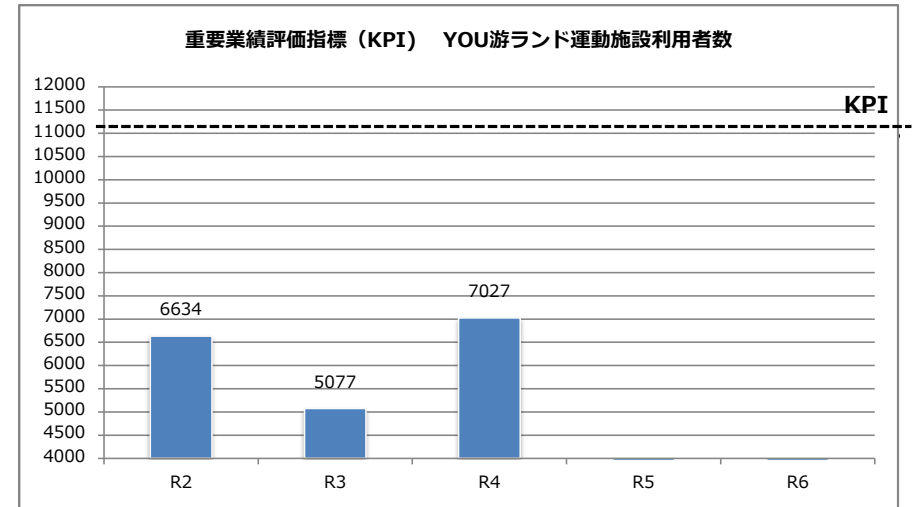
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標値（人）	9,820	10,139	10,459	10,777	11,100
実績値（人）	6,634	5,077	7,027		
目標に対する達成率	67.6%	50.1%	67.2%	0.0%	0.0%
現状値に対する増減率	69.8%	53.4%	74.0%	0.0%	0.0%
評価	△	△	△		
目標 [PLAN]	村民の健康に対する意識づけと自らの健康状態の把握を促しつつ、本村の特色である自然や温泉、気候、食を通じた健康づくりを推進します。また、東京オリンピック・パラリンピック等をきっかけとして村民のより一層のスポーツへの関心を高めつつ、一人ひとりの体力に応じたスポーツ活動を促進します。				
実績（具体的な取組内容） [DO]	各種団体の大会等が開催されるようになり、全体的に施設利用者数が戻りつつあります。				
分析 [CHECK]	これまで利用の多かった村シニアクラブ連盟や村ゲートボール協会の会員数が、減少傾向にあります（団体からの情報）。多目的ホールの人工芝面の保護のため、サッカー等の激しい運動は行わないことに決まり、サッカースクールの利用がなくなりました。				
対応方針 [ACTION]	多目的ホールの天窓や換気扇の改修により、夏場の天井熱気が逃げるようになったため快適性が増し、利用者の増加が見込めます。園内での朝活ウォーキングなどを通して、健康維持のためにYOU游ランド利用するよう周知していきます。				
備考					

年度ごとの評価

◎	目標値以上
○	現状値以上目標値未満
△	現状値未満
—	進捗なし・事業終了

総合評価

◎	目標以上に進捗・効果あり
○	ほぼ目標通りに進捗・やや効果あり
△	目標を下回っている・あまり効果なし
—	目標値・事業の見直し等が必要



総合戦略会議による検証評価

意見等	子どもが安心して楽しく遊べるように、YOU游ランドの遊具を修繕または更新してもらいたい。
総合評価	△ 目標を下回っている・あまり効果なし

第二期高山村総合戦略効果検証シート

基本目標	4 魅力的で安心して暮らすことができるむらをつくる
主な施策	4-④ 健康づくり・スポーツ活動の推進
担当課	健康福祉課
重要業績評価指標（KPI）目標値	糖尿病及び予備群の割合 60.0%
現状値	65.8 % （R2年度）

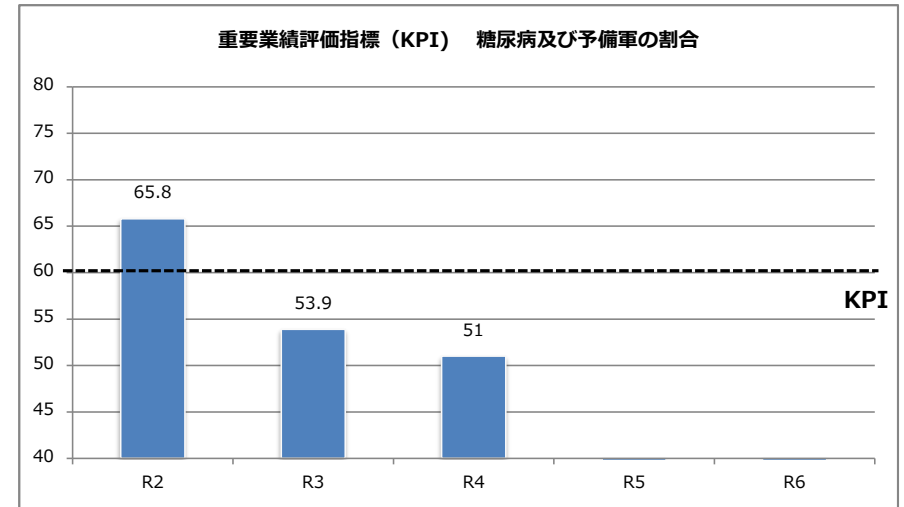
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標値（%）	61.2	60.9	60.6	60.3	60.0
実績値（%）	65.8	53.9	51.0		
目標に対する達成率	93.0%	113.0%	118.8%		
現状値に対する増減率	100.0%	122.1%	129.0%		
評価	△	◎	◎		
目標 [PLAN]	村民の健康に対する意識づけと自らの健康状態の把握を促しつつ、本村の特色である自然や温泉、気候、食を通じた健康づくりを推進します。また、東京オリンピック・パラリンピック等をきっかけとして村民のより一層のスポーツへの関心を高めつつ、一人ひとりの体力に応じたスポーツ活動を促進します。				
実績（具体的な 取組内容） [DO]	健診受診者のうち重症化リスクが高い方に対し、保健師・栄養士が保健指導を実施しています。今年度は分かりやすい保健指導が行えるように、新たに保健指導教材を作成しました。また、保健指導対象者の中には、治療中の方が含まれるため、服薬に関して適切な保健指導が行えるように、薬剤師会の支援を受けました。今年度から、集団健診で精密検査が必要な方については、保健師・栄養士が訪問し、受診勧奨を行い必要な医療に繋げました。				
分析 [CHECK]	継続的に保健指導を行うことで、年々糖尿病及び予備群の割合は減少傾向にあります。今年度から精密検査が必要な方へ訪問を行ったことで、医療機関受診率が約5割から約6割に増加しました。				
対応方針 [ACTION]	糖尿病は重症化することで、脳梗塞や人工透析のリスクが高まるため、今後も地道な保健指導を継続していきます。さらに、来年度からは新型コロナの影響で中止していた糖尿病予防教室を再開し、ハイリスクアプローチとポピュレーションアプローチを組み合わせた支援を行っていきます。				
備考					

年度ごとの評価

◎	目標値以上
○	現状値以上目標値未満
△	現状値未満
—	進捗なし・事業終了

総合評価

◎	目標以上に進捗・効果あり
○	ほぼ目標通りに進捗・やや効果あり
△	目標を下回っている・あまり効果なし
—	目標値・事業の見直し等が必要



総合戦略会議による検証評価

意見等	なし
総合評価	◎ 目標以上に進捗・効果あり

第二期高山村総合戦略効果検証シート

基本目標	4 魅力的で安心して暮らすことができるむらをつくる
主な施策	4-② 高山村らしい文化の継承と創造
担当課	教育委員会
重要業績評価指標（KPI）目標値	文化事業参加者数 5,000人
現状値	4,200 人（R元年度）

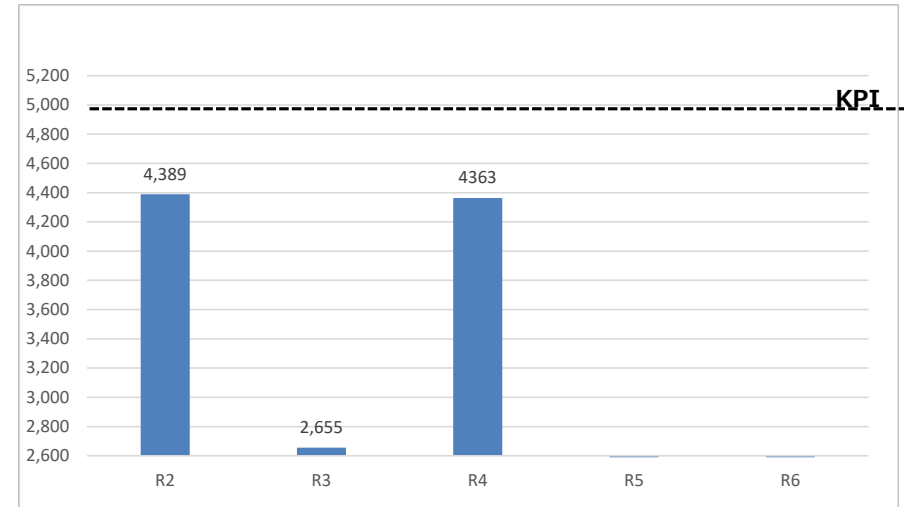
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標値（人）	4,360	4,520	4,680	4,840	5,000
実績値（人）	4,389	2,655	4,363		
目標に対する達成率	100.7%	58.7%	93.2%	0.0%	0.0%
現状値に対する増減率	104.5%	63.2%	103.9%	0.0%	0.0%
評価	△	△	△		
目標 [PLAN]	既存の文化施設を有効に活用し、本村に伝わる民話や神楽などの伝統芸能の継承活動を推進するとともに、世界に誇れるワイン産地を目指す村としてワイン文化の醸成を図るなど、高山村らしい文化の継承と創造を推進します。また、既存の公共施設を活用しながら、ホールや図書館機能の充実を図るなど、文化交流施設の整備について検討するほか、本村に存在する貴重な文化財を継承するため、文化財指定に向けた取組みを促進します。				
実績（具体的な 取組内容） [DO]	村文化祭を3年ぶりに対面で開催し、コロナ禍において活動が縮小していた各種団体が舞台発表を行いました。世代間のつながりや文化団体の活動を盛り上げる機会となりました。生涯学習事業は、新しい生活様式に沿ってできることを実施しました。文化交流施設の整備については、検討委員会を設置し現状を踏まえ将来像を模索しました。村の文化財指定に関しては、改めて地域の人に知っていただくために活動を行いました。				
分析 [CHECK]	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、依然として地域や団体における活動は停滞しています。				
対応方針 [ACTION]	コロナ禍で停滞気味の文化活動を地域の皆さんとともに考え、人と人のつながっていく事業を実施していきます。 このためには、世代をつなぐ人づくり・組織づくりが必要となります。				
備考					

年度ごとの評価

◎	目標値以上
○	現状値以上目標値未満
△	現状値未満
—	進捗なし・事業終了

総合評価

◎	目標以上に進捗・効果あり
○	ほぼ目標通りに進捗・やや効果あり
△	目標を下回っている・あまり効果なし
—	目標値・事業の見直し等が必要



総合戦略会議による検証評価

意見等	なし
総合評価	△ 目標を下回っている・あまり効果なし

第二期高山村総合戦略効果検証シート

基本目標	4 魅力的で安心して暮らすことができるむらをつくる
主な施策	4-③ 農村風景の保全と耕作放棄地対策の推進
担当課	産業振興課
重要業績評価指標 (KPI) 目標値	耕作放棄地 50ha
現状値	55 ha (R元年度)

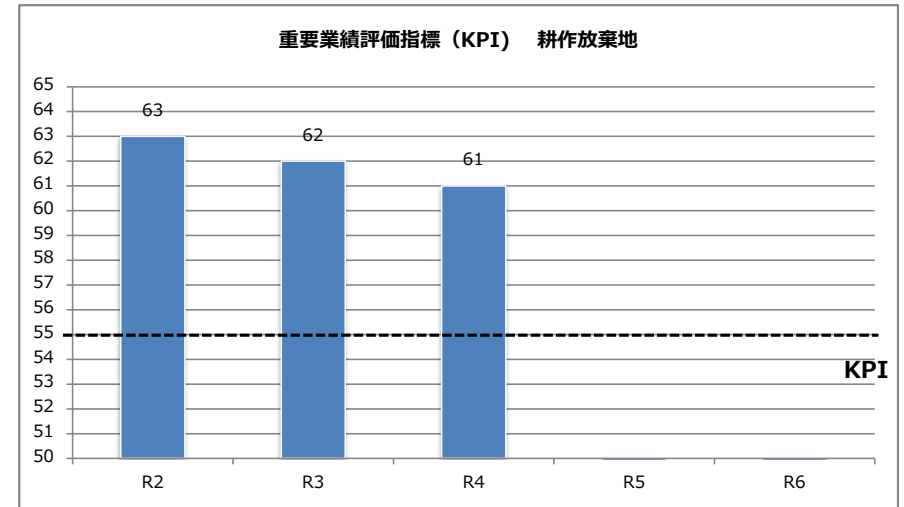
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標値 (ha)	54	53	52	51	50
実績値 (ha)	63	62	61		
目標に対する達成率	85.7%	85.5%	85.2%		
現状値に対する増減率	87.3%	88.7%	90.2%		
評価	△	△	△		
目標 [PLAN]	本村の美しい農村風景の保全のため、農地の流動化を進めるとともに、高齢者も継続して農業経営を行えるよう、負担の少ない農作物への転換等に向けた支援の充実を図り、耕作放棄地対策を推進します。				
実績 (具体的な取組内容) [DO]	村単耕作放棄地再生対策事業交付金 (75千円/10a) の申請は、本年度1件、6aとなりました。農業委員会では今年度も農地利用意向調査や遊休荒廃地所有者への聞き取り調査を通じて、貸し出し農地を掘り起し担い手への農地集積を図るなどして、新たな耕作放棄地の発生を防ぐ活動をしています。				
分析 [CHECK]	耕作放棄地の再生や発生防止の取り組み等により、耕作放棄地の面積はやや減少しましたが、傾斜地や不整形地等といった理由から借り手がつかない耕作放棄地は依然として減少しないため、対策を検討すべきであると考えます。 また、農業者の高齢化により離農が進み、耕作放棄地の増加が懸念されます。				
対応方針 [ACTION]	引き続き、村の交付金事業を活用し農地再生を進めるとともに、担い手への集積活動を更に促進し、新たな耕作放棄地の発生防止を図ります。 また、担い手の要望を踏まえつつ、小規模な基盤整備事業の実施することで、耕作放棄地の大幅な解消を検討していくが必要です。				
備考					

年度ごとの評価

◎	目標値以上
○	現状値以上目標値未満
△	現状値未満
—	進捗なし・事業終了

総合評価

◎	目標以上に進捗・効果あり
○	ほぼ目標通りに進捗・やや効果あり
△	目標を下回っている・あまり効果なし
—	目標値・事業の見直し等が必要



総合戦略会議による検証評価

意見等	なし
総合評価	△ 目標を下回っている・あまり効果なし

第二期高山村総合戦略効果検証シート

基本目標	4 魅力的で安心して暮らすことができるむらをつくる
主な施策	4-④ 地球にやさしい生活環境の整備
担当課	総務課
重要業績評価指標（KPI）目標値	再生可能資源の実用化（公営・民営）件数 15件
現状値	13 件（R元年度）

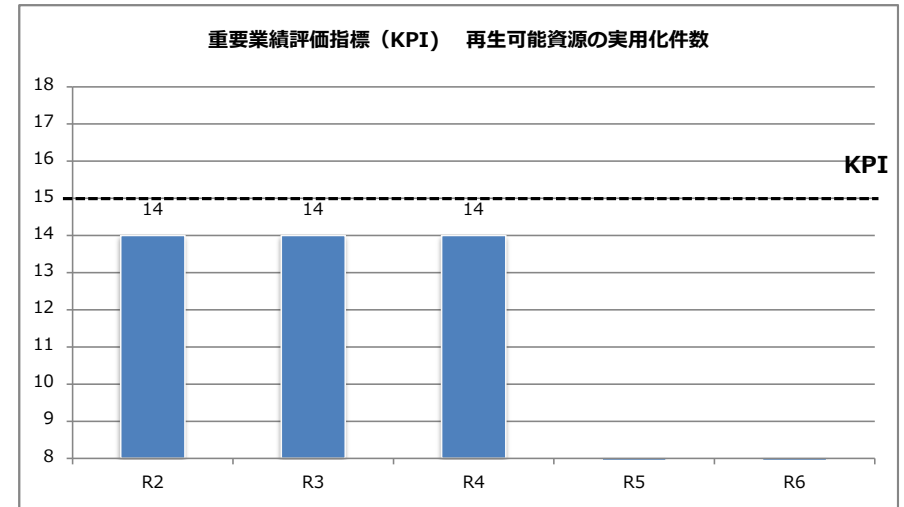
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標値（件）	13	13	13	14	15
実績値（件）	14	14	14		
目標に対する達成率	107.7%	107.7%	107.7%	0.0%	0.0%
現状値に対する増減率	107.7%	107.7%	107.7%	0.0%	0.0%
評価	◎	◎	◎		
目標 [PLAN]	「高山村地球にやさしい環境基本条例」及び同基本計画に基づき、太陽光発電・蓄電や木質バイオマスの活用、小水力発電・地熱発電等の再生可能エネルギーの活用により、さらなるエネルギーの地産地消を進めます。				
実績（具体的な 取組内容） [DO]	令和3年度に引き続き実績はありませんでしたが、令和5年2月6日に開催した「知事との県民対話集会」において、木材を再生可能エネルギーとして活用していくことについて議論が交わされました。木材の活用について、村民の関心をさらに高められたものと考えます。				
分析 [CHECK]	水力発電や木質バイオマスの活用などは、温室効果ガスの排出抑制の観点から村民の関心が高いと思われるため、実現に向けて具体化していく必要があります。				
対応方針 [ACTION]	令和5年度で保健福祉総合センターに太陽光発電施設等設置事業を予定しており、再生可能エネルギーの更なる活用を進めていきます。 また、民間事業者による再生可能エネルギーの生産施設整備事業への支援を行い、村が持つ高いポテンシャルを活かすよう努めていきます。				
備考					

年度ごとの評価

◎	目標値以上
○	現状値以上目標値未満
△	現状値未満
—	進捗なし・事業終了

総合評価

◎	目標以上に進捗・効果あり
○	ほぼ目標通りに進捗・やや効果あり
△	目標を下回っている・あまり効果なし
—	目標値・事業の見直し等が必要



総合戦略会議による検証評価

意見等	なし
総合評価	◎ 目標以上に進捗・効果あり

第二期高山村総合戦略効果検証シート

基本目標	4 魅力的で安心して暮らすことができるむらをつくる
主な施策	4-④ 地球にやさしい生活環境の整備
担当課	総務課
重要業績評価指標（KPI）目標値	住宅用太陽光発電件数 412件
現状値	308 件（R元年度）

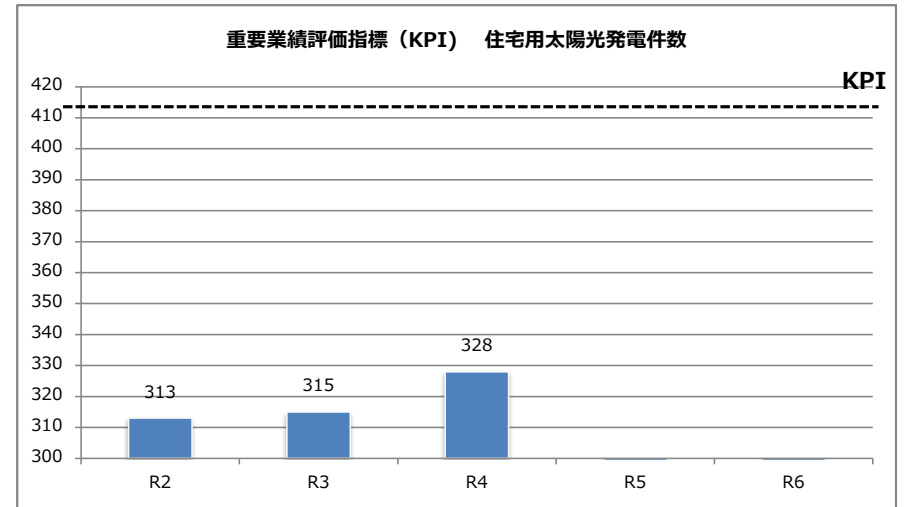
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標値（件）	329	349	370	391	412
実績値（件）	313	315	328		
目標に対する達成率	95.1%	90.3%	88.6%	0.0%	0.0%
現状値に対する増減率	101.6%	102.3%	106.5%	0.0%	0.0%
評価	○	○	○		
目標 [PLAN]	「高山村地球にやさしい環境基本条例」及び同基本計画に基づき、太陽光発電・蓄電や木質バイオマスの活用、小水力発電・地熱発電等の再生可能エネルギーの活用により、さらなるエネルギーの地産地消を進めます。				
実績（具体的な 取組内容） [DO]	「高山村地球にやさしい環境基本条例」及び同基本計画並びに「高山村地域再エネ導入戦略」に基づき、住宅用太陽光発電設備の普及に努めてきました。 太陽光発電設備設置補助：1 kwh当たり30千円（上限額150千円）				
分析 [CHECK]	村の補助金を活用して、新たに13軒で太陽光発電設備が設置されました。 しかしながら、目標値を下回る状況が続いているため、更なる補助制度の周知が必要と思われます。				
対応方針 [ACTION]	長引くコロナ禍やロシアによるウクライナ侵攻などにより社会情勢が不安定となり物価が高騰している中で、新たに太陽光発電設備を設置する村民を増やすことは難しいと思われませんが、引き続き補助制度を広く周知していきます。				
備考					

年度ごとの評価

◎	目標値以上
○	現状値以上目標値未満
△	現状値未満
—	進捗なし・事業終了

総合評価

◎	目標以上に進捗・効果あり
○	ほぼ目標通りに進捗・やや効果あり
△	目標を下回っている・あまり効果なし
—	目標値・事業の見直し等が必要



総合戦略会議による検証評価

意見等	なし
総合評価	○ ほぼ目標通りに進捗・やや効果あり

第二期高山村総合戦略効果検証シート

基本目標	4 魅力的で安心して暮らすことができるむらをつくる
主な施策	4-④ 地球にやさしい生活環境の整備
担当課	総務課
重要業績評価指標（KPI）目標値	住宅用蓄電池システム設置件数 10件
現状値	0 件（R2年度から補助制度開始）

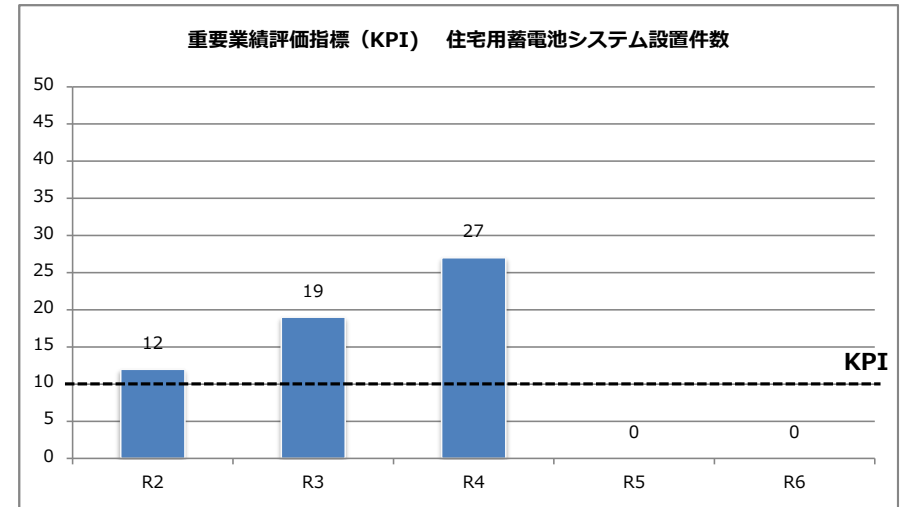
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標値（件）	2	4	6	8	10
実績値（件）	12	19	27		
目標に対する達成率	600.0%	475.0%	450.0%	0.0%	0.0%
現状値に対する増減率	-	-	-	-	-
評価	◎	◎	◎		
目標 [PLAN]	「高山村地球にやさしい環境基本条例」及び同基本計画に基づき、太陽光発電・蓄電や木質バイオマスの活用、小水力発電・地熱発電等の再生可能エネルギーの活用により、さらなるエネルギーの地産地消を進めます。				
実績（具体的な 取組内容） [DO]	「高山村地球にやさしい環境基本条例」及び同基本計画並びに「高山村地域再エネ導入戦略」に基づき、住宅用蓄電池システムの普及に努めてきました。 蓄電池システム設置補助：設置費用の1/10以内（上限額150千円）				
分析 [CHECK]	台風をはじめとする災害発生時の停電の経験から、蓄電池システムの設置への関心が高まってきており、村の補助制度を活用して新たに8軒で設置されました。設置件数が目標値以上となっています。				
対応方針 [ACTION]	長引くコロナ禍やロシアによるウクライナ侵攻などにより社会情勢が不安定となり物価が高騰している中ではありますが、住宅用蓄電池システムを設置する村民を増やすべく、引き続き補助制度を広く周知していきます。				
備考					

年度ごとの評価

◎	目標値以上
○	現状値以上目標値未満
△	現状値未満
—	進捗なし・事業終了

総合評価

◎	目標以上に進捗・効果あり
○	ほぼ目標通りに進捗・やや効果あり
△	目標を下回っている・あまり効果なし
—	目標値・事業の見直し等が必要



総合戦略会議による検証評価

意見等	なし
総合評価	◎ 目標以上に進捗・効果あり

第二期高山村総合戦略効果検証シート

基本目標	4 魅力的で安心して暮らすことができるむらをつくる
主な施策	4-⑤ 公共交通等の確保
担当課	健康福祉課
重要業績評価指標（KPI）目標値	長電バス「山田温泉線」村内区間の平日利用者数 220人/日
現状値	200 人/日 （R元年度）

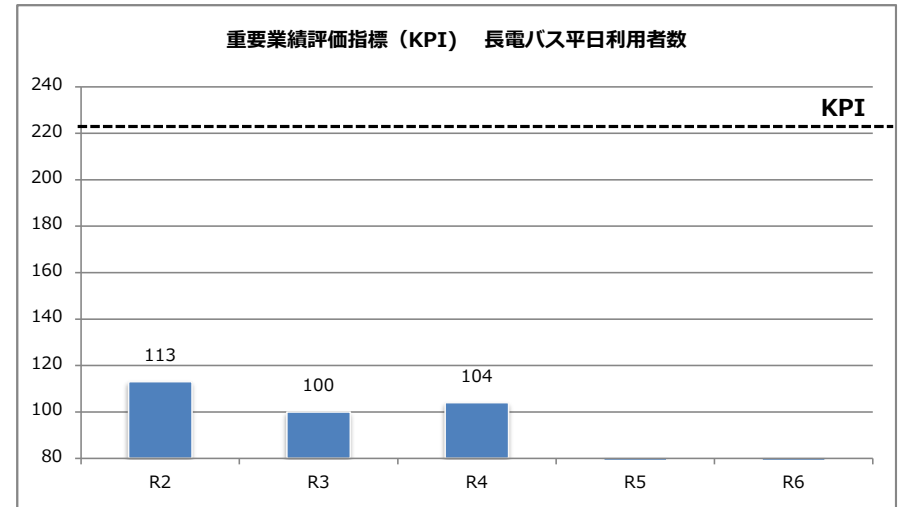
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標値（人）	204	208	212	216	220
実績値（人）	113	100	104		
目標に対する達成率	55.4%	48.1%	49.1%	0.0%	0.0%
現状値に対する増減率	56.5%	50.0%	52.0%	0.0%	0.0%
評価	△	△	△		
目標 [PLAN]	村民の重要な足である路線バス等の維持と利用促進を図り、地域づくりに貢献する村民の生活を支えるシステムとして確立するよう、住民・交通事業者・村及びその他関係機関の意識共有のもと推進していきます。事業実施にあたっては、効率的で質の高い地域公共交通の実現に向け、目標達成型の施策展開として「地域公共交通網形成計画」を達成する施策を重点的に展開し、社会環境や住民のニーズの変化を考慮しつつ、適宜見直しを図りながら進めます。				
実績（具体的な 取組内容） [DO]	新型コロナウイルス感染症の影響により、高齢者サロンやシニアクラブ等の行事及び会合の中止が相次ぎ、従来実施していた70歳以上の村民を対象とした公共交通の利用方法及びICカードKURURUに関する説明会の開催ができませんでしたが、民生児童委員の定例会の場や見守り訪問での声掛け、広報紙等を活用し制度周知を行いました。				
分析 [CHECK]	路線バス、乗合タクシー共に新型コロナウイルス感染症による外出控え等の影響が大きく、利用者の減少が続いています。バスふれあいデーでの子ども運賃無料など、沿線の自治体や事業者とも協力する中で方策を検討してきましたが、なかなか実績に繋がりません。住民からは、「コロナで外出を控えている」「まだ自家用車を運転できる」「ICカードの作成が億劫」などの声が聞かれました。				
対応方針 [ACTION]	村民への説明会（PR）を今後も実施するとともに、運輸局や県等関係機関との連携を密にし、利用促進と利用者の利便性向上に努めていきます。				
備考					

年度ごとの評価

◎	目標値以上
○	現状値以上目標値未満
△	現状値未満
—	進捗なし・事業終了

総合評価

◎	目標以上に進捗・効果あり
○	ほぼ目標通りに進捗・やや効果あり
△	目標を下回っている・あまり効果なし
—	目標値・事業の見直し等が必要



総合戦略会議による検証評価

意見等	令和6年度からの地域公共交通網形成計画を策定する際には、高齢者だけでなく高校生などにも意見を聞くようにしてほしい。
総合評価	△ 目標を下回っている・あまり効果なし

第二期高山村総合戦略効果検証シート

基本目標	4 魅力的で安心して暮らすことができるむらをつくる
主な施策	4-⑤ 公共交通等の確保
担当課	健康福祉課
重要業績評価指標（KPI）目標値	ICカードKURURUふれあいパスポート所持者数 200人
現状値	150人（R元年度）

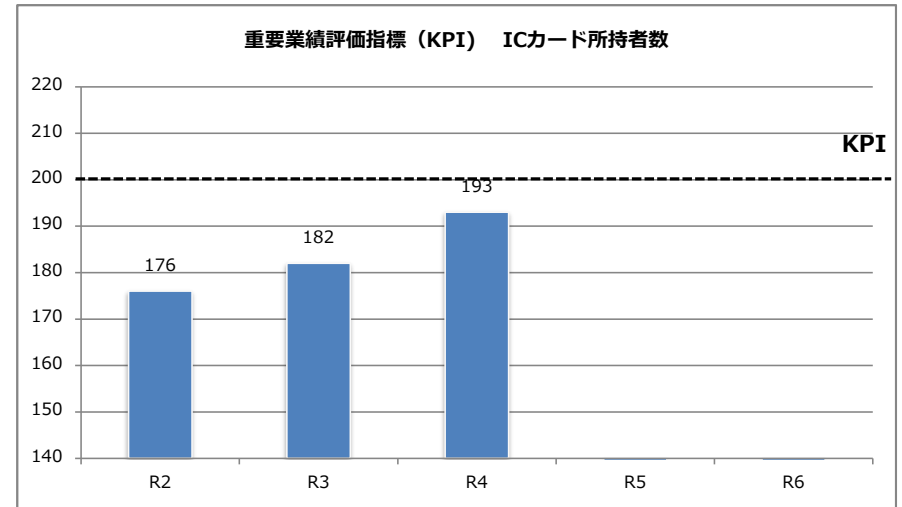
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標値（人）	160	170	180	190	200
実績値（人）	176	182	193		
目標に対する達成率	110.0%	107.1%	107.2%	0.0%	0.0%
現状値に対する増減率	117.3%	121.3%	128.7%	0.0%	0.0%
評価	◎	◎	◎		
目標 [PLAN]	村民の重要な足である路線バス等の維持と利用促進を図り、地域づくりに貢献する村民の生活を支えるシステムとして確立するよう、住民・交通事業者・村及びその他関係機関の意識共有のもと推進していきます。事業実施にあたっては、効率的で質の高い地域公共交通の実現に向け、目標達成型の施策展開として「地域公共交通網形成計画」を達成する施策を重点的に展開し、社会環境や住民のニーズの変化を考慮しつつ、適宜見直しを図りながら進めます。				
実績（具体的な 取組内容） [DO]	従来、シニアクラブ支部を通じて、70歳以上の村民を対象に実施していた公共交通の利用方法及びICカードKURURUに関する説明会が、新型コロナウイルス感染症の影響により開催できなかったが、民生児童委員の見守り活動や広報紙等により制度周知を図ったことで、11名の方がICカードを新規に取得しました。				
分析 [CHECK]	村民（70歳以上）への説明会の実施が困難であったため、民生児童委員の見守り活動や広報紙等により周知を図り、ICカードKURURUふれあいパスポートの販売は伸びたことから、一定の販売促進効果が得られたと考えています。				
対応方針 [ACTION]	村民への説明会（PR）の実施や、各種団体の会合等の場を活用し、今後も継続して制度周知に努めていきます。				
備考					

年度ごとの評価

◎	目標値以上
○	現状値以上目標値未満
△	現状値未満
—	進捗なし・事業終了

総合評価

◎	目標以上に進捗・効果あり
○	ほぼ目標通りに進捗・やや効果あり
△	目標を下回っている・あまり効果なし
—	目標値・事業の見直し等が必要



総合戦略会議による検証評価

意見等	なし
総合評価	◎ 目標以上に進捗・効果あり

第二期高山村総合戦略効果検証シート

基本目標	4 魅力的で安心して暮らすことができるむらをつくる
主な施策	4-⑥ 国土強靱化の推進
担当課	総務課
重要業績評価指標（KPI）目標値	国土強靱化地域計画の策定
現状値	未策定（R元年度）

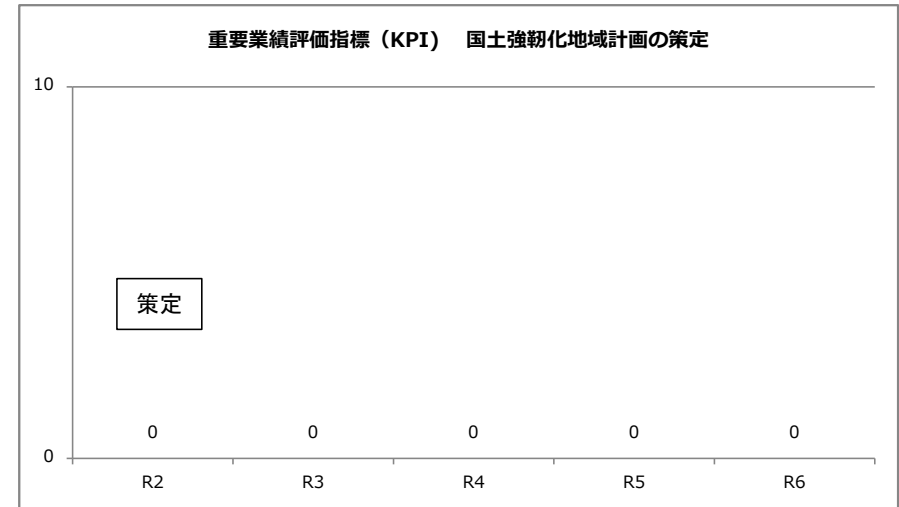
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標値	策定				
実績値	策定				
目標に対する達成率	100.0%	-	-	-	-
現状値に対する増減率	-	-	-	-	-
評価	◎				
目標 [PLAN]	災害発生時において人命が最大限守られ、被害を最小限に抑え、迅速な復旧・復興を可能とすることができるよう、村民の暮らしを守る重要な機能について、強靱化の観点から必要な対応施策を検討し、計画的な整備を推進します。				
実績（具体的な 取組内容） [DO]	R2年度に策定した国土強靱化地域計画に基づき、小中学校の教室への空調設備の整備や道路排水対策工事、河川・水路改修工事等を実施しました。				
分析 [CHECK]	各担当課において、策定した国土強靱化地域計画を指針として、計画的に事業を実施することができるように庁内における計画内容の周知・共有を図るとともに、必要により計画の見直しを行う体制を構築します。				
対応方針 [ACTION]	災害が発生した場合でもその被害を最小限に抑え、速やかな復興を成し遂げるために、策定した国土強靱化地域計画を指針として、災害対策事業等各種事業を展開していきます。				
備考					

年度ごとの評価

◎	目標値以上
○	現状値以上目標値未満
△	現状値未満
-	進捗なし・事業終了

総合評価

◎	目標以上に進捗・効果あり
○	ほぼ目標通りに進捗・やや効果あり
△	目標を下回っている・あまり効果なし
-	目標値・事業の見直し等が必要



総合戦略会議による検証評価

意見等	なし
総合評価	◎ 目標以上に進捗・効果あり

第二期高山村総合戦略効果検証シート

基本目標	4 魅力的で安心して暮らすことができるむらをつくる
主な施策	4-⑦ 多様な主体による協働の推進
担当課	総務課
重要業績評価指標（KPI）目標値	協働事業助成制度利用件数 250件
現状値	0 件

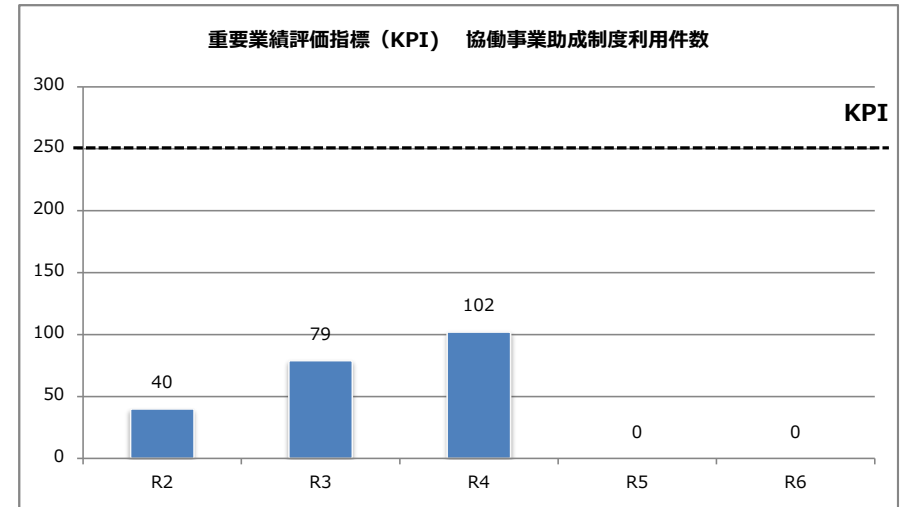
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標値（件）	50	100	150	200	250
実績値（件）	40	79	102		
目標に対する達成率	80.0%	79.0%	68.0%	0.0%	0.0%
現状値に対する増減率	-	-	-	-	-
評価	○	○	○		
目標 [PLAN]	自治区活動やスポーツクラブなどの既存の交流活動に加え、多様な主体による協働のむらづくりを推進することにより、地域課題への対応を図るとともに、村民のコミュニティに対する意識の醸成と地域への愛着形成を図ります。				
実績（具体的な 取組内容） [DO]	今年度は、自治区施設整備補助（8件）、長野県市町村振興協会のコミュニティ助成事業（2件）、県元気づくり支援金を活用したおてんま支援事業（9件）などにより、地区公会堂の修繕や歩行型除雪機の購入など安全安心な地域づくりを推進しました。				
分析 [CHECK]	以前から実施しているコミュニティ助成事業やおてんま支援事業等により、地域住民が参画する協働の村づくりを推進していますが、協働事業助成制度利用件数は、目標値を下回りました。				
対応方針 [ACTION]	今後も継続して協働事業助成制度の周知と活用の促進を図るとともに、更なる協働による村づくりを推進するため、村民や村内事業者を含めた協議の場を設ける検討を進めます。				
備考					

年度ごとの評価

◎	目標値以上
○	現状値以上目標値未満
△	現状値未満
—	進捗なし・事業終了

総合評価

◎	目標以上に進捗・効果あり
○	ほぼ目標通りに進捗・やや効果あり
△	目標を下回っている・あまり効果なし
—	目標値・事業の見直し等が必要



総合戦略会議による検証評価

意見等	なし
総合評価	○ ほぼ目標通りに進捗・やや効果あり

第二期高山村総合戦略効果検証シート

基本目標	4 魅力的で安心して暮らすことができるむらをつくる
主な施策	4-⑧ 広域連携の推進
担当課	総務課
重要業績評価指標 (KPI) 目標値	広域連携取組件数 30件
現状値	25 件 (H27～R元年度累計)

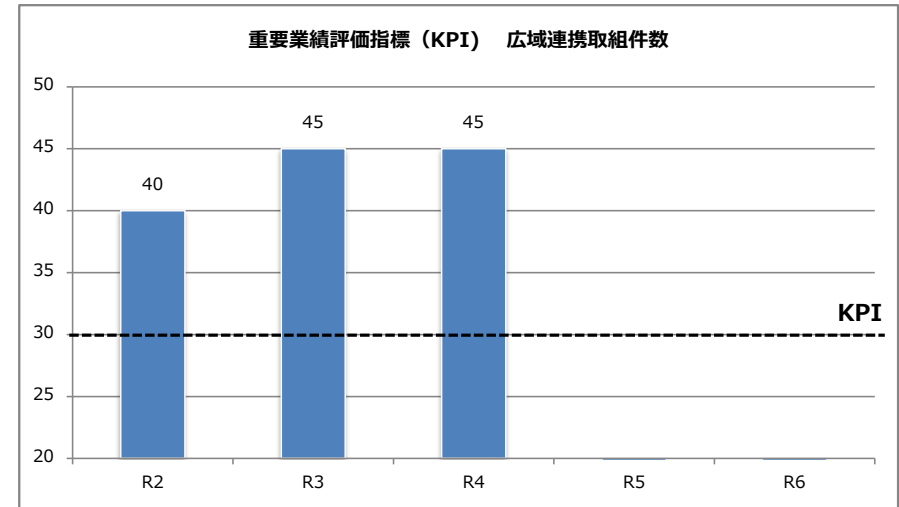
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標値 (件)	26	27	28	29	30
実績値 (件)	40	45	45		
目標に対する達成率	153.8%	166.7%	160.7%	0.0%	0.0%
現状値に対する増減率	160.0%	180.0%	180.0%	0.0%	0.0%
評価	◎	◎	◎		
目標 [PLAN]	中核市である長野市を中枢都市とする連携中枢都市圏や志賀高原ユネスコエコパークに含まれる自治体、「日本で最も美しい村」連合加盟自治体等との連携した取組みを推進し、効率的かつ効果的に広域課題に対応します。				
実績 (具体的な 取組内容) [DO]	前年度に引き続き、長野市を中心とした長野地域連携中枢都市圏構想に基づく42項目の事業をはじめ、「日本で最も美しい村」連合の事業などを継続的に実施することで、本村の課題に対し広域的な視点から解決に向けて事業を推進しました。				
分析 [CHECK]	長野地域連携中枢都市圏事業や美しい村連合事業は、継続的に着実に取組んでいる成果が出てきています。このため、引き続き事業を実施するとともに、新たな事業についての参加を検討していきます。				
対応方針 [ACTION]	長野地域連携中枢都市圏構想事業の参加していない事業への参加を検討するとともに、従来から実施している事業に関しては、当初の目的が達成されるよう更なる取組みの強化が必要と考えています。				
備考					

年度ごとの評価

◎	目標値以上
○	現状値以上目標値未満
△	現状値未満
—	進捗なし・事業終了

総合評価

◎	目標以上に進捗・効果あり
○	ほぼ目標通りに進捗・やや効果あり
△	目標を下回っている・あまり効果なし
—	目標値・事業の見直し等が必要



総合戦略会議による検証評価

意見等	なし
総合評価	◎ 目標以上に進捗・効果あり